

第二期飯山市子ども・子育て支援事業計画 策定に係るニーズ調査結果報告書

令和元年 12 月

飯 山 市

目次

1)	調査の概要	1
2)	集計方法	2
3)	就学前児童調査結果	3
1	お住まいの地域について	3
2	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	4
3	子どもの育ちをめぐる環境について	7
4	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	12
5	宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	22
6	宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	33
7	宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	39
8	宛名のお子さんの病気の際の対応について	45
9	宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	53
10	宛名のお子さんが小学校に入学してからの放課後の過ごし方について	60
11	すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など	68

1) 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定するものではありません。〕

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します（新制度は平成27年度から実施予定）。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

●調査の種類と対象者

種類	対象世帯	対象世帯数
就学前児童の いる世帯	平成30年10月30日現在、住民基本台帳に掲載されている 就学前の児童がいる全世帯（就学前児童が2人以上いる場合 は年齢が上の児童について）	591世帯

●実施概要

種類	対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
就学前児童	飯山市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	平成30年12月10日 ～平成30年12月28 日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

区 分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	591	378	64.0%

2) 集計方法

(1) 報告書の見方

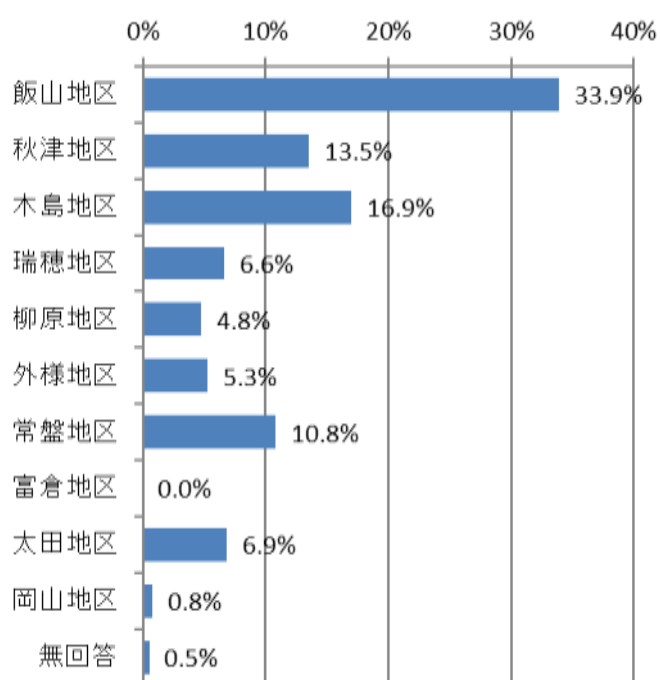
- ・本報告書では、回答すべきところが回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・本報告書では、回答する必要のないところ及び回答すべきでないところを回答している場合は「非該当」として扱う。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示している。したがって、合計値は100%にならない場合がある。

3) 就学前児童調査結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「飯山地区」の割合が33.9%と最も高く、次いで「木島地区」が16.9%となっています。

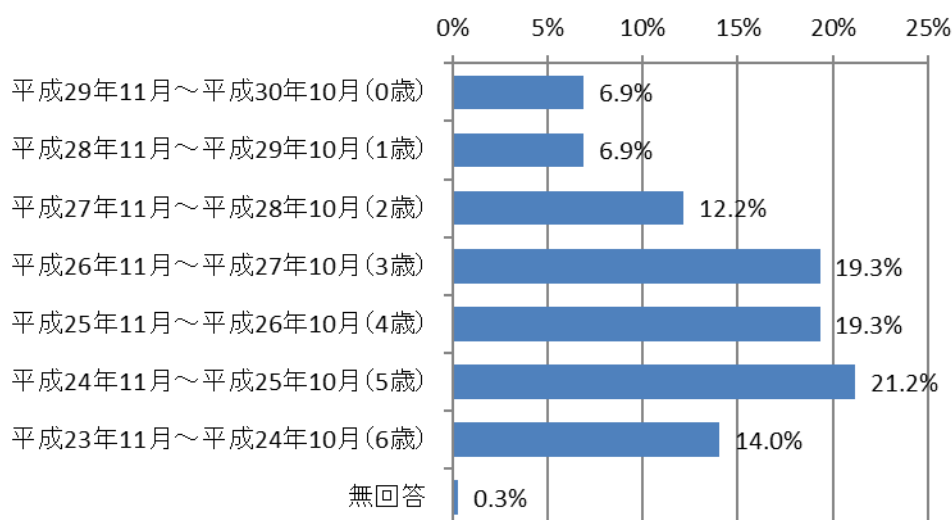


項目	度数	構成比
飯山地区	128	33.9%
秋津地区	51	13.5%
木島地区	64	16.9%
瑞穂地区	25	6.6%
柳原地区	18	4.8%
外様地区	20	5.3%
常盤地区	41	10.8%
富倉地区	0	0.0%
太田地区	26	6.9%
岡山地区	3	0.8%
無回答	2	0.5%
回答者数	378	100.0%

2 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

子どもの年齢(平成30年10月30日基準)は、「5歳」の割合が21.2%、「3歳」と「4歳」の割合が19.3%、「6歳」の割合が14.0%となっています。



生年月日(年齢)	度数	構成比
平成29年11月～平成30年10月(0歳)	26	6.9%
平成28年11月～平成29年10月(1歳)	26	6.9%
平成27年11月～平成28年10月(2歳)	46	12.2%
平成26年11月～平成27年10月(3歳)	73	19.3%
平成25年11月～平成26年10月(4歳)	73	19.3%
平成24年11月～平成25年10月(5歳)	80	21.2%
平成23年11月～平成24年10月(6歳)	53	14.0%
無回答	1	0.3%
回答者数	378	100.0%

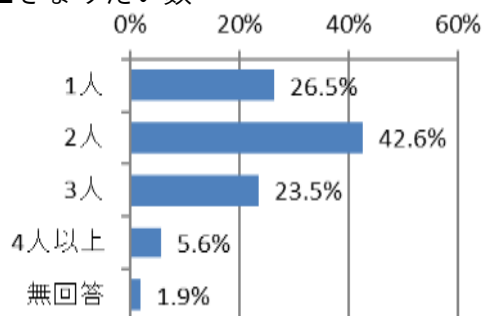
※年齢算出基準日：平成30年10月30日

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

1世帯当たりの子どもの人数は、「2人」の割合が42.6%と最も高く、次いで「1人」が26.5%、「3人」が23.5%となっています。

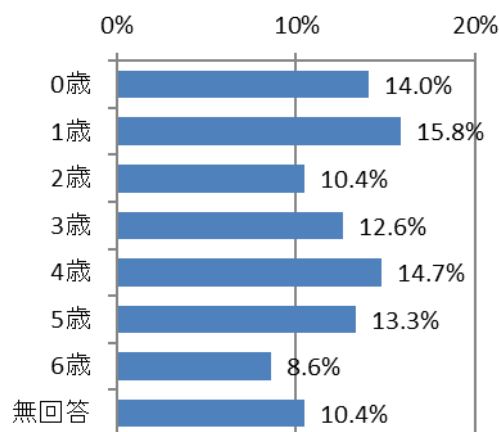
また、2人以上のきょうだいがいる世帯の末子の年齢は、「1歳」の割合が15.8%と最も高くなっています。

■きょうだい数



項目	度数	構成比
1人	100	26.5%
2人	161	42.6%
3人	89	23.5%
4人以上	21	5.6%
無回答	7	1.9%
回答者数	378	100.0%

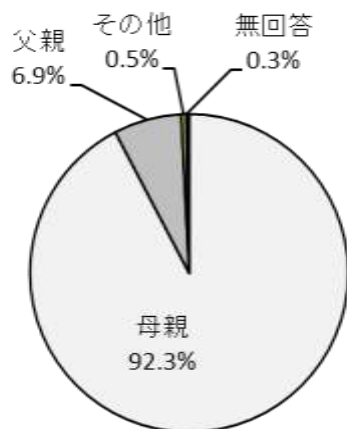
■末子の年齢



項目	度数	構成比
0歳	39	14.0%
1歳	44	15.8%
2歳	29	10.4%
3歳	35	12.6%
4歳	41	14.7%
5歳	37	13.3%
6歳	24	8.6%
無回答	29	10.4%
回答者数	278	100.0%
非該当	100	-

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

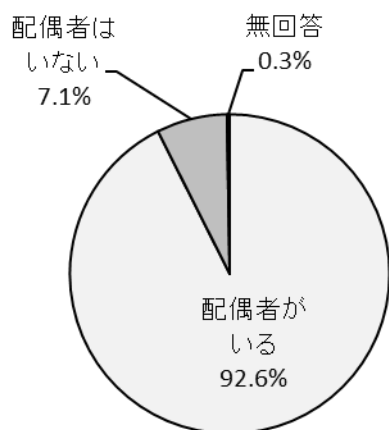
調査票の回答者は、「母親」が92.3%に対し、「父親」が6.9%と、「母親」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
母親	349	92.3%
父親	26	6.9%
その他	2	0.5%
無回答	1	0.3%
回答者数	378	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

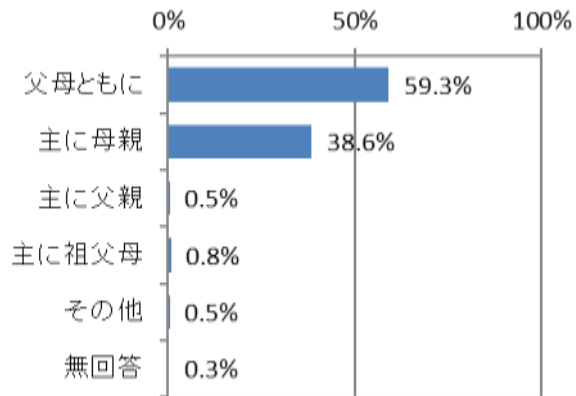
調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が92.6%に対し、「配偶者はいない」が7.1%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者がいる	350	92.6%
配偶者はいない	27	7.1%
無回答	1	0.3%
回答者数	378	100.0%

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が 59.3%と最も高く、「主に母親」が 38.6%と続いています。

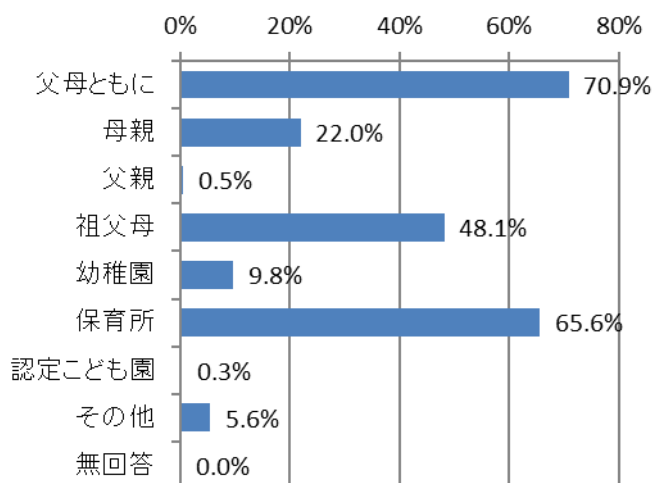


項目	度数	構成比
父母ともに	224	59.3%
主に母親	146	38.6%
主に父親	2	0.5%
主に祖父母	3	0.8%
その他	2	0.5%
無回答	1	0.3%
回答者数	378	100.0%

3 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

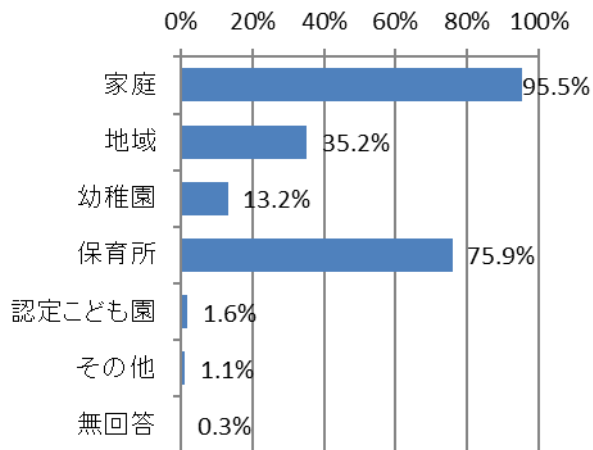
子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「保育所（65.6%）」、「祖父母」が 48.1%となっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	268	70.9%
母親	83	22.0%
父親	2	0.5%
祖父母	182	48.1%
幼稚園	37	9.8%
保育所	248	65.6%
認定こども園	1	0.3%
その他	21	5.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	378	-

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

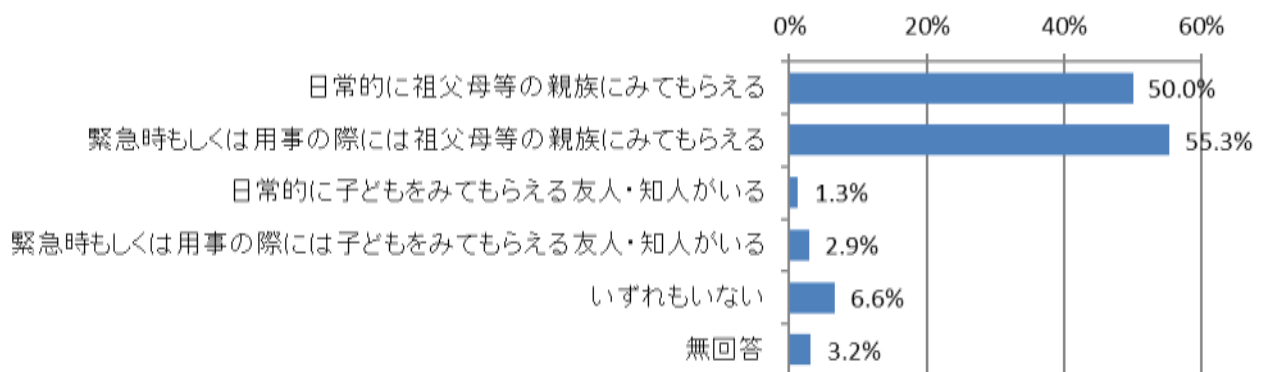
子どもの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が95.5%と最も高く、次いで「保育所」が75.9%、「地域」が35.2%と続いています。



項目	度数	構成比
家庭	361	95.5%
地域	133	35.2%
幼稚園	50	13.2%
保育所	287	75.9%
認定こども園	6	1.6%
その他	4	1.1%
無回答	1	0.3%
回答者数	378	-

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.3%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が50.0%と続いています。

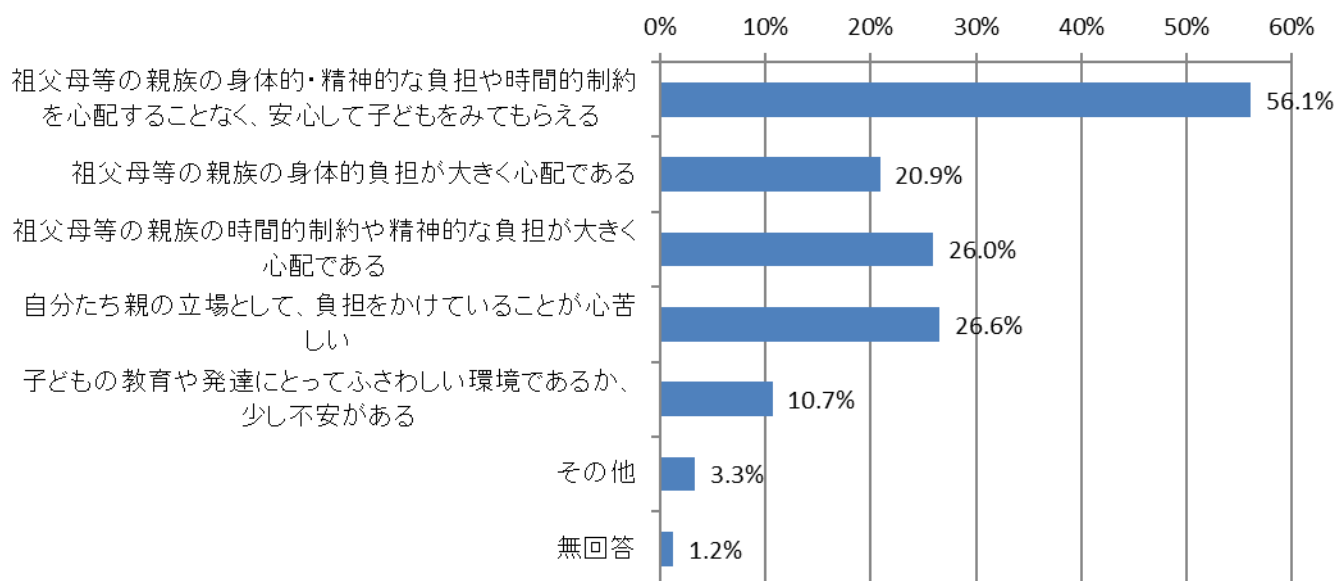


項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	189	50.0%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	209	55.3%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	1.3%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	11	2.9%
いずれもない	25	6.6%
無回答	12	3.2%
回答者数	378	-

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が56.1%と5割以上で最も高くなっています。

また、心配や不安を感じる項目では、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい(26.6%)」となっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	188	56.1%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	70	20.9%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	87	26.0%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	89	26.6%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	36	10.7%
その他	11	3.3%
無回答	4	1.2%
回答者数	335	—
非該当	43	—

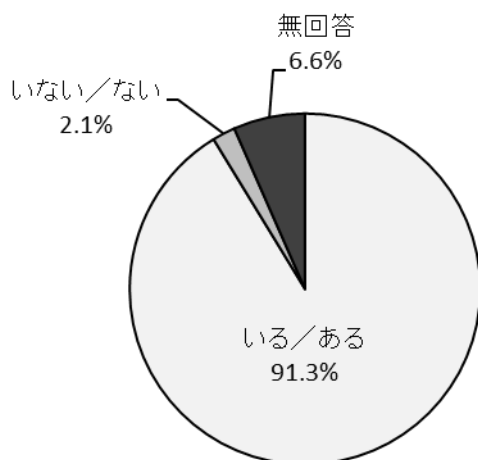
問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が11件で多く、心配や不安を感じる項目では、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が5件とやや多くなっています。

項目	度数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	11	73.3%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	1	6.7%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	2	13.3%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	5	33.3%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	15	—
非該当	363	—

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

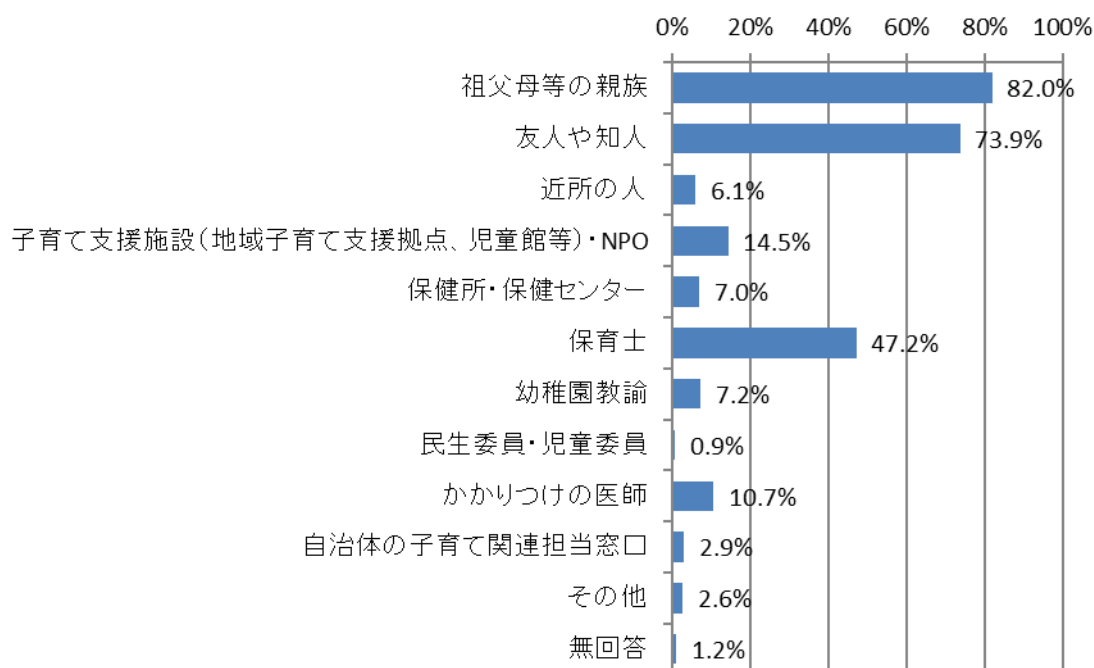
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が91.3%に対し、「いない／ない」が2.1%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	345	91.3%
いない／ない	8	2.1%
無回答	25	6.6%
回答者数	378	100.0%

問 10-1 問 10 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（82.0%）」「友人や知人（73.9%）」の割合がいずれも7割を超え、高くなっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族	283	82.0%
友人や知人	255	73.9%
近所の人	21	6.1%
子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	50	14.5%
保健所・保健センター	24	7.0%
保育士	163	47.2%
幼稚園教諭	25	7.2%
民生委員・児童委員	3	0.9%
かかりつけの医師	37	10.7%
自治体の子育て関連担当窓口	10	2.9%
その他	9	2.6%
無回答	4	1.2%
回答者数	345	－
非該当	33	－

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※別冊掲載

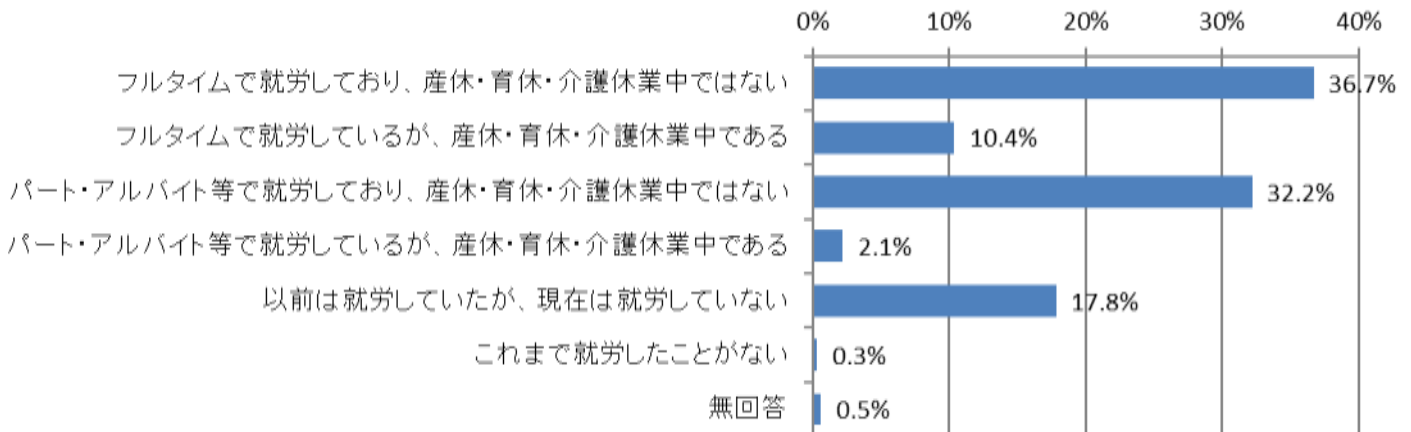
4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が36.7%と最も高く、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が32.2%となっています。

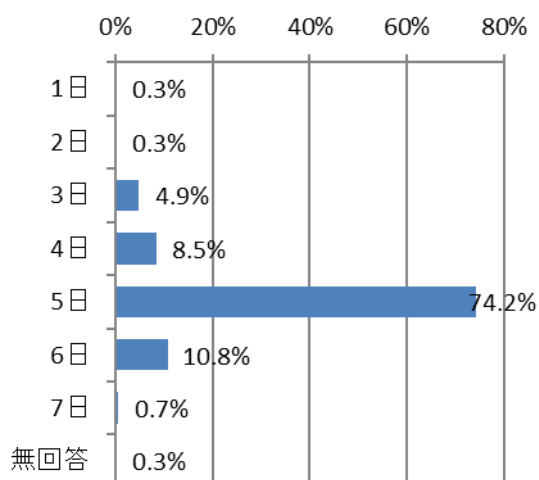
また、産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め12.5%で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は17.8%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	138	36.7%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	39	10.4%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	121	32.2%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	2.1%
以前は就労していたが、現在は就労していない	67	17.8%
これまで就労したことがない	1	0.3%
無回答	2	0.5%
回答者数	376	—
非該当	2	—

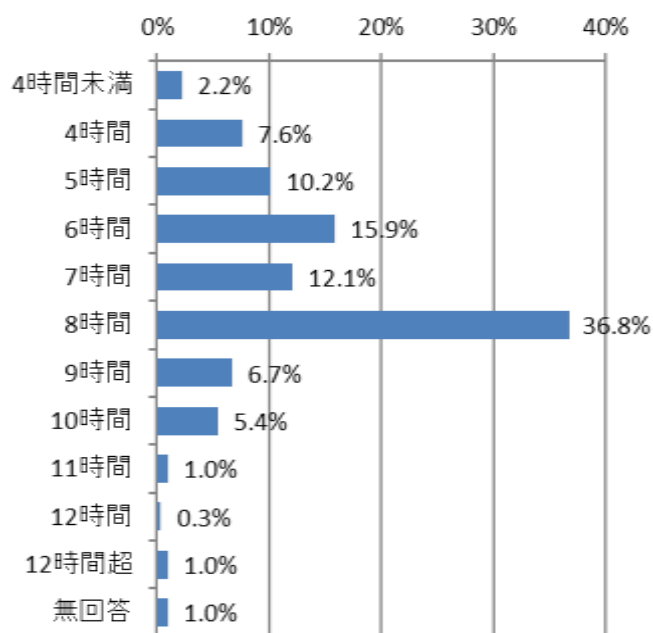
(1) -1 (1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)
現在就労している「母親」の1週当たり就労日数は、「5日」の割合が74.2%、1日当たり就労時間(残業を含む)は「8時間」の割合が36.8%とそれぞれ最も高くなっています。

■ 1週当たり就労日数



項目	度数	構成比
1日	1	0.3%
2日	1	0.3%
3日	15	4.9%
4日	26	8.5%
5日	227	74.2%
6日	33	10.8%
7日	2	0.7%
無回答	1	0.3%
回答者数	306	100.0%
非該当	72	-

■ 1日当たり就労時間(残業を含む)

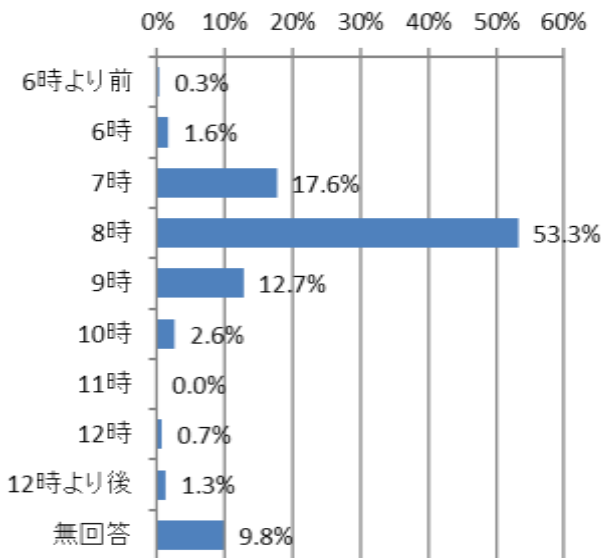


項目	度数	構成比
4時間未満	7	2.2%
4時間	24	7.6%
5時間	32	10.2%
6時間	50	15.9%
7時間	38	12.1%
8時間	116	36.8%
9時間	21	6.7%
10時間	17	5.4%
11時間	3	1.0%
12時間	1	0.3%
12時間超	3	1.0%
無回答	3	1.0%
回答者数	315	100.0%
非該当	72	-

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

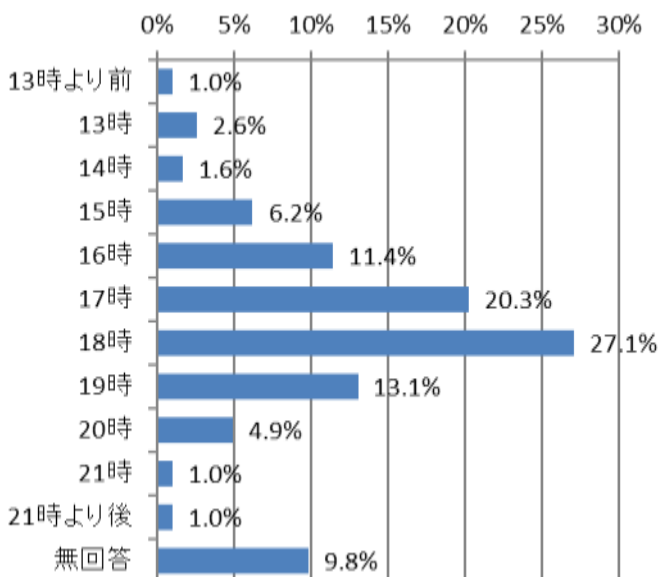
現在就労している「母親」の家を出る時刻は、「8時」の割合が53.3%、帰宅時刻は、「18時」の割合が27.1%とそれぞれ最も高くなっています。

■家を出る時刻



項目	度数	構成比
6時より前	4	1.4%
6時	40	13.7%
7時	115	39.4%
8時	88	30.1%
9時	8	2.7%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	2	0.7%
12時より後	3	1.0%
無回答	32	11.0%
回答者数	292	100.0%
非該当	86	-

■帰宅時刻

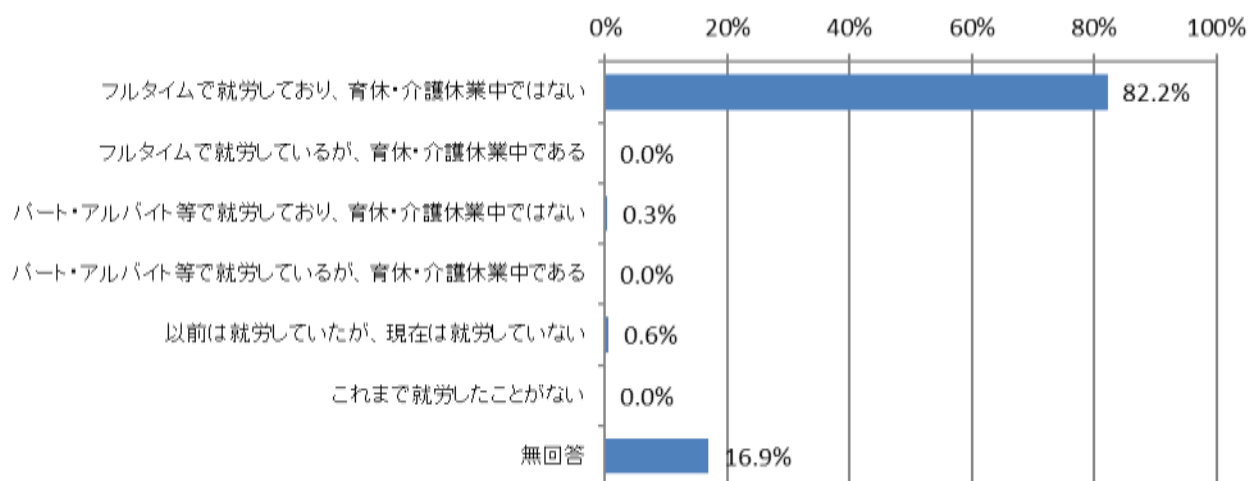


項目	度数	構成比
13時より前	3	1.0%
13時	8	2.6%
14時	5	1.6%
15時	19	6.2%
16時	35	11.4%
17時	62	20.3%
18時	83	27.1%
19時	40	13.1%
20時	15	4.9%
21時	3	1.0%
21時より後	3	1.0%
無回答	30	9.8%
回答者数	306	100.0%
非該当	72	-

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が82.2%と最も高くなっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め0.0%でした。

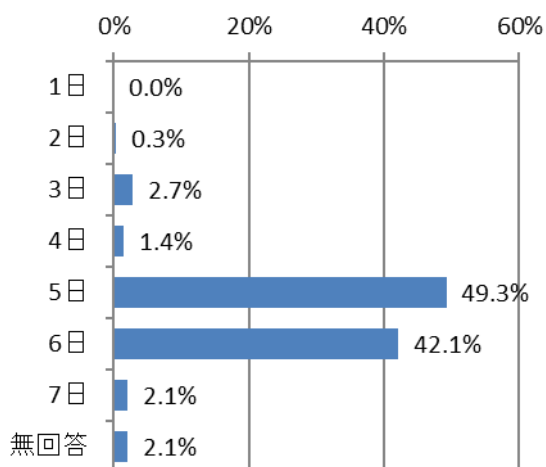


項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	291	82.2%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	0.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.6%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	60	16.9%
回答者数	354	100.0%
非該当	24	—

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

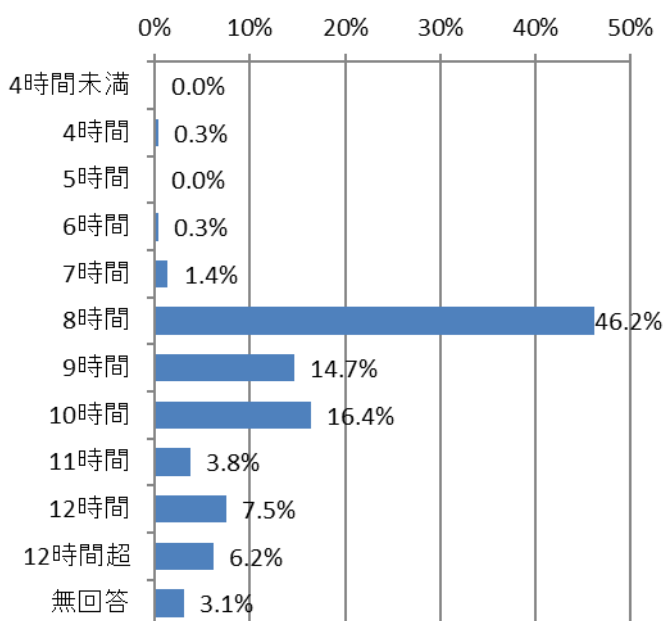
現在就労している「父親」の1週当たり就労日数は、「5日(49.3%)」、「6日(42.1%)」、となっています。1日当たり就労時間(残業を含む)は「8時間」の割合が46.2%と最も高くなっています。

■ 1週当たり就労日数



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.3%
3日	8	2.7%
4日	4	1.4%
5日	144	49.3%
6日	123	42.1%
7日	6	2.1%
無回答	6	2.1%
回答者数	292	100.0%
非該当	86	-

■ 1日当たり就労時間(残業を含む)

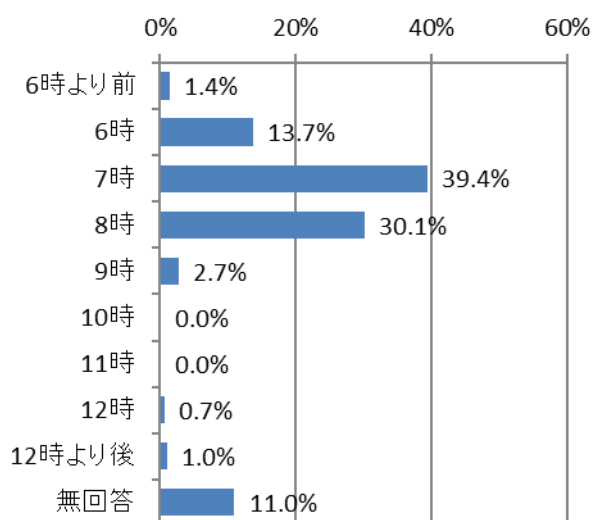


項目	度数	構成比
4時間未満	0	0.0%
4時間	1	0.3%
5時間	0	0.0%
6時間	1	0.3%
7時間	4	1.4%
8時間	135	46.2%
9時間	43	14.7%
10時間	48	16.4%
11時間	11	3.8%
12時間	22	7.5%
12時間超	18	6.2%
無回答	9	3.1%
回答者数	292	100.0%
非該当	86	-

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 0 8 時~1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

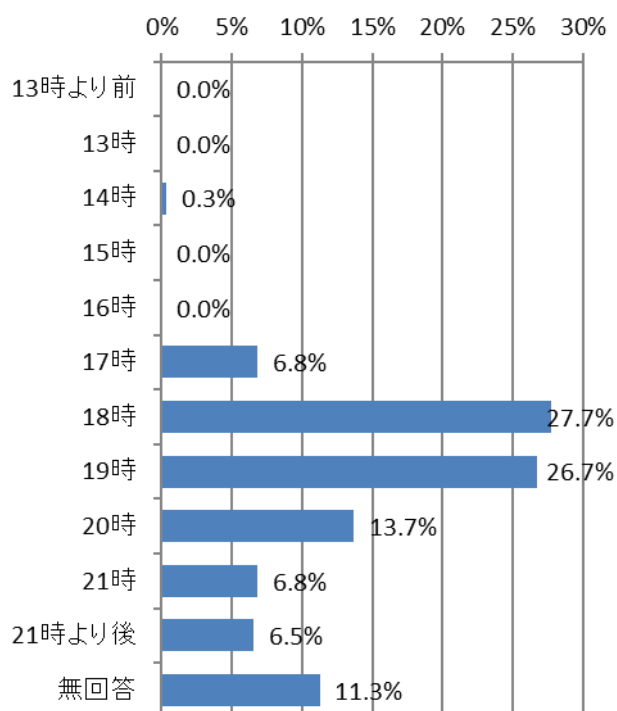
現在就労している「父親」の家を出る時刻は、「7 時」の割合が 39.4%、帰宅時刻は、「18 時(27.7%)」「19 時 (26.7%)」とそれぞれ高くなっています。

■家を出る時刻



項目	度数	構成比
6時より前	4	1.4%
6時	40	13.7%
7時	115	39.4%
8時	88	30.1%
9時	8	2.7%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	2	0.7%
12時より後	3	1.0%
無回答	32	11.0%
回答者数	292	100.0%
非該当	86	-

■帰宅時刻

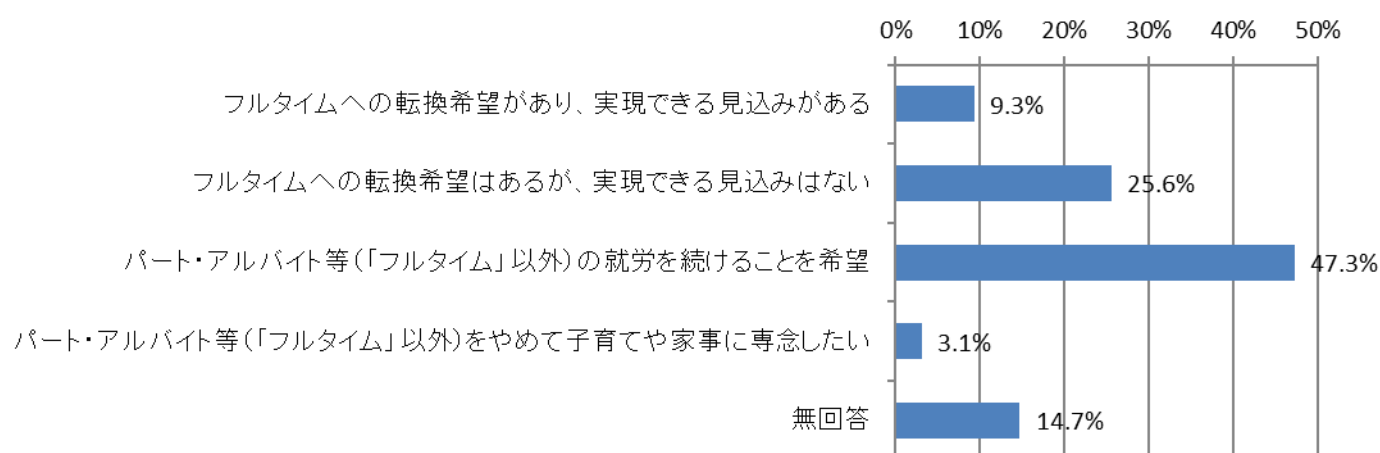


項目	度数	構成比
13時より前	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	1	0.3%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	20	6.8%
18時	81	27.7%
19時	78	26.7%
20時	40	13.7%
21時	20	6.8%
21時より後	19	6.5%
無回答	33	11.3%
回答者数	292	100.0%
非該当	86	-

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が47.3%と最も高く、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合は9.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合は25.6%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	12	9.3%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	33	25.6%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	61	47.3%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4	3.1%
無回答	19	14.7%
回答者数	129	100.0%
非該当	249	-

(2) 父親

パート・アルバイト等で就労している「父親」のフルタイムへの転換希望は、無回答でした。

項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	0	0.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	100.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	377	-

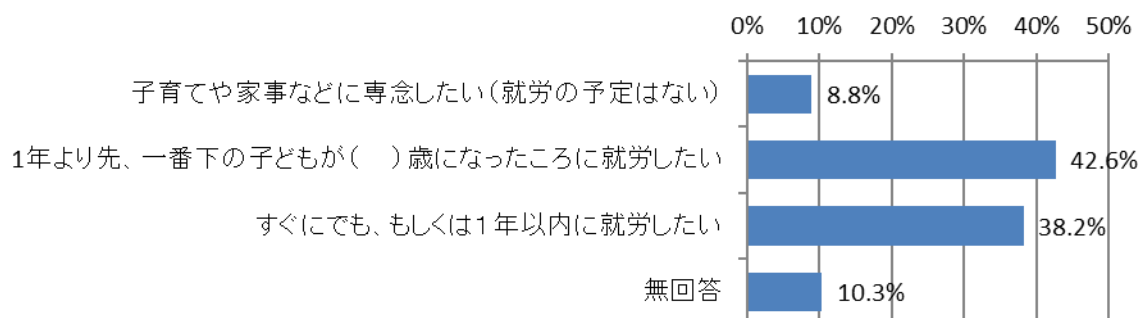
問 14 問 12 の (1) または (2) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「母親」の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が42.6%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が8.8%となっています。

また、就労を希望する時期(一番下の子どもの年齢)は、「2歳」と「3歳」の割合が34.5%と最も高くなっています。

さらに、現在就労していない「母親」の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等(フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)以外)」が23件となっています。希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週当たりの勤務日数は「5日(9件)」、1日当たりの勤務時間は、「3～5時間(15件)」が多くなっています。



項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	6	8.8%
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	29	42.6%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	26	38.2%
無回答	7	10.3%
回答者数	68	100.0%
非該当	310	－

■就労を希望する時期（子どもの年齢）

項目	度数	構成比
1歳	5	17.2%
2歳	10	34.5%
3歳	10	34.5%
4歳	1	3.4%
5歳	0	0.0%
6歳	3	10.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	29	100.0%
非該当	349	－

■希望する就労形態

項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	5	9.1%
パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	23	41.8%
無回答	27	49.1%
回答者数	55	100.0%
非該当	323	－

■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の希望する勤務日数・時間
（1週当たり勤務日数）（1日当たり勤務時間）

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	6	26.1%
4日	5	21.7%
5日	9	39.1%
無回答	3	13.0%
回答者数	23	100.0%
非該当	355	－

項目	度数	構成比
3～5時間	15	65.2%
6～8時間	5	21.7%
無回答	3	13.0%
回答者数	23	100.0%
非該当	355	－

(2) 父親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「父親」の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、無回答でした。

さらに、現在就労していない「父親」の今後希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件となっています。

項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0%
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	－

■就労を希望する時期（子どもの年齢）

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の回答なし

■希望する就労形態

項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	2	100.0%
パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	－

■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の希望する勤務日数・時間

（1週当たり勤務日数）

回答なし

（1日当たり勤務時間）

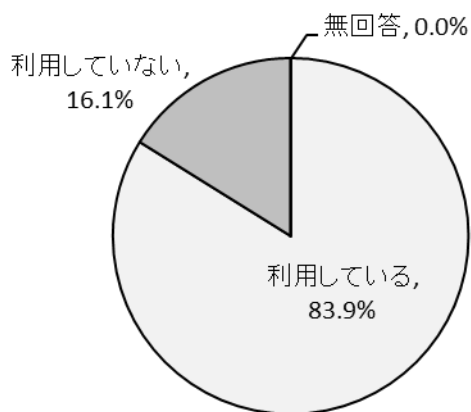
回答なし

5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

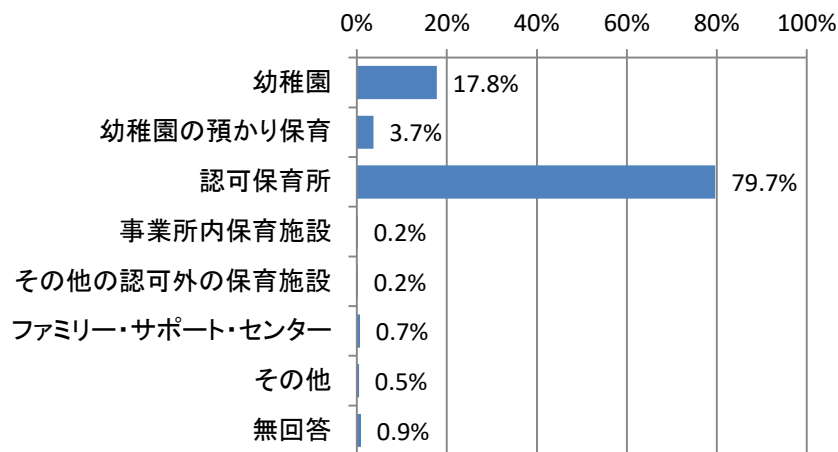
定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 83.9% に対し、「利用していない」が 16.1% と、「利用している」割合が上回っています。



項目	度数	構成比
利用している	317	83.9%
利用していない	61	16.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	378	100.0%

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 79.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 17.8%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 3.7%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	40	12.6%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	15	4.7%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	270	85.2%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	0	0.0%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	0	0.0%
その他の認可外の保育施設	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1	0.3%
その他	2	0.6%
無回答	1	0.3%
回答者数	317	－
非該当	61	－

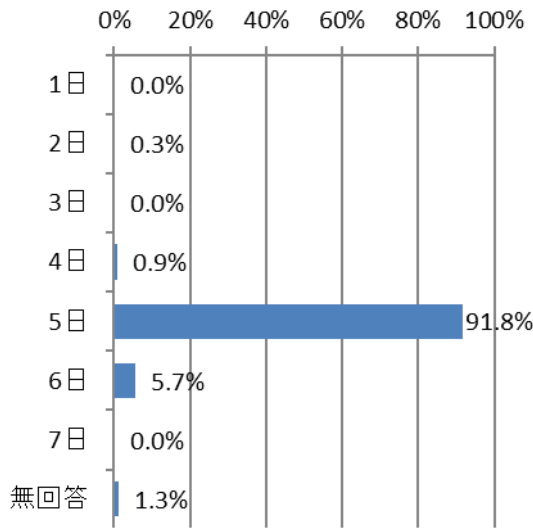
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1週当たりの日数については、「5日」の割合が91.8%、1日当たりの時間については、「7時間」～「9時間」の割合が79.5%と、それぞれ最も高くなっています。

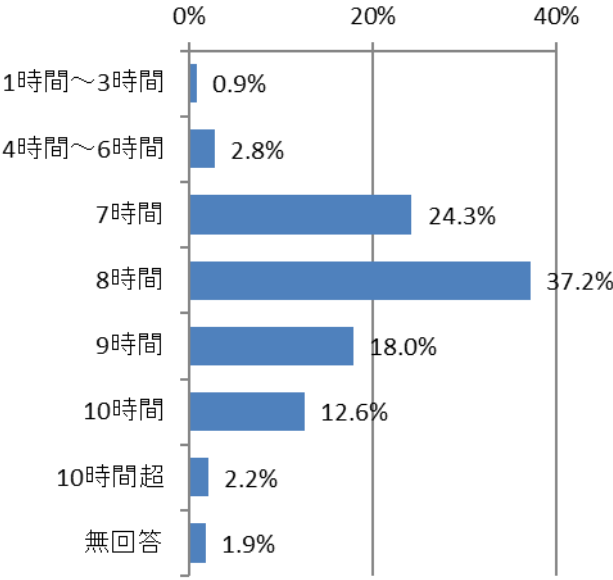
また、利用時間帯は、登園時刻については、「8時（54.9%）」「9時（38.2%）」、帰園時刻については、「16時（52.1%）」と高くなっています。

■ 1週当たり日数



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.3%
3日	0	0.0%
4日	3	0.9%
5日	291	91.8%
6日	18	5.7%
7日	0	0.0%
無回答	4	1.3%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

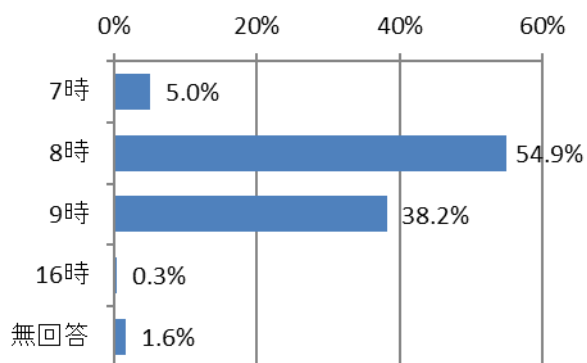
■ 1日当たり時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	3	0.9%
4時間～6時間	9	2.8%
7時間	77	24.3%
8時間	118	37.2%
9時間	57	18.0%
10時間	40	12.6%
10時間超	7	2.2%
無回答	6	1.9%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

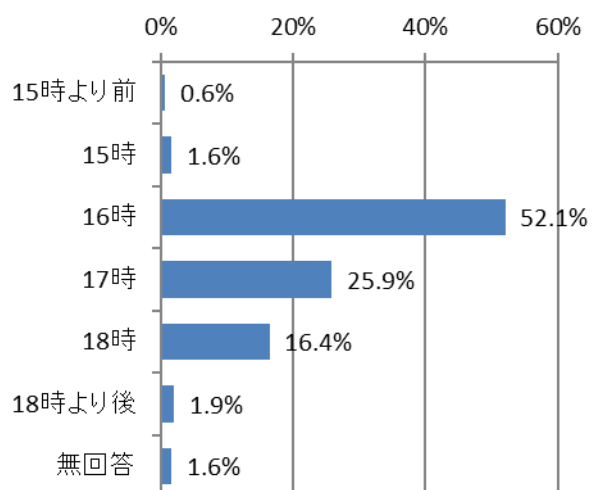
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
7時	16	5.0%
8時	174	54.9%
9時	121	38.2%
16時	1	0.3%
無回答	5	1.6%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	—

(帰園時刻)



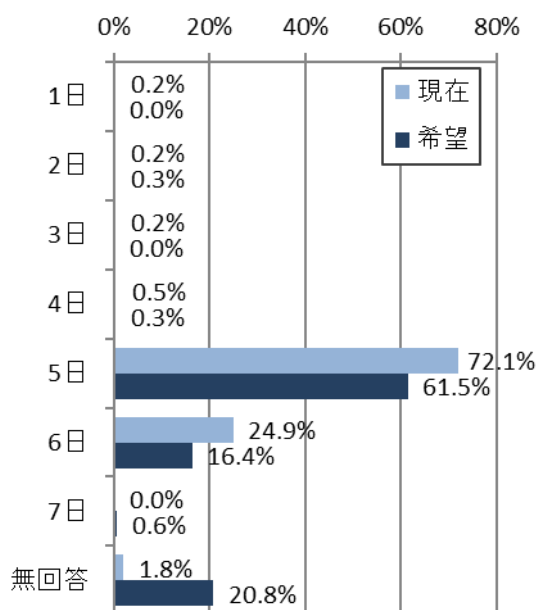
項目	度数	構成比
15時より前	2	0.6%
15時	5	1.6%
16時	165	52.1%
17時	82	25.9%
18時	52	16.4%
18時より後	6	1.9%
無回答	5	1.6%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	—

(2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週当たりの日数については、「5日」の割合が61.5%、1日当たりの時間については、「9時間」～「10時間超」の割合で36.6%と、現在の利用と比較して希望する割合が高くなっています。

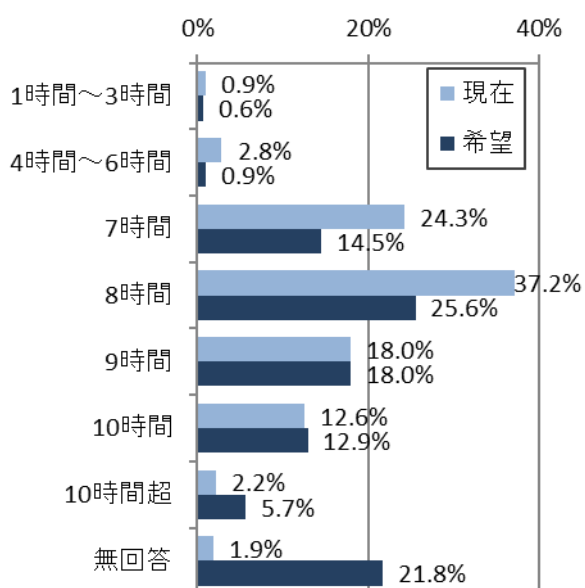
また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時（43.8%）」、帰園時刻については、「16時（30.3%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 1週当たり日数



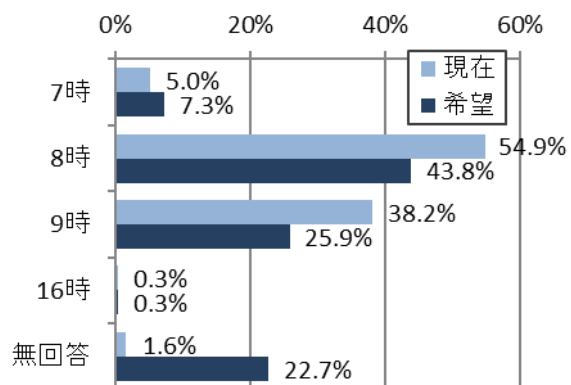
項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.3%
3日	0	0.0%
4日	1	0.3%
5日	195	61.5%
6日	52	16.4%
7日	2	0.6%
無回答	66	20.8%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

■ 1日当たり時間



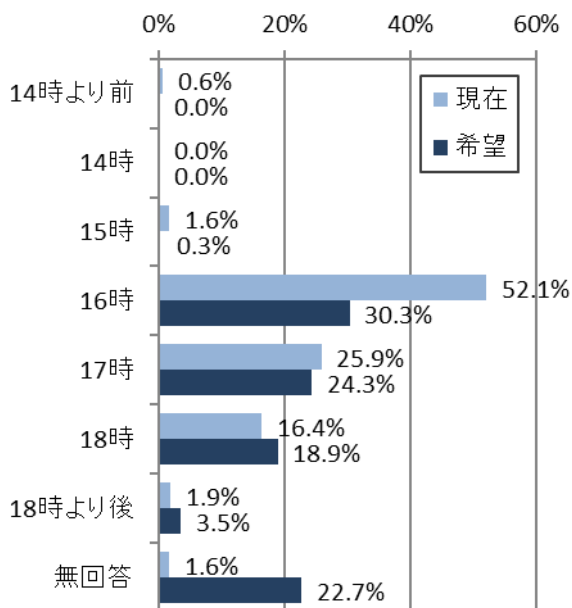
項目	度数	構成比
1時間～3時間	2	0.6%
4時間～6時間	3	0.9%
7時間	46	14.5%
8時間	81	25.6%
9時間	57	18.0%
10時間	41	12.9%
10時間超	18	5.7%
無回答	69	21.8%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

■利用時間帯
(登園時刻)



項目	度数	構成比
7時	23	7.3%
8時	139	43.8%
9時	82	25.9%
16時	1	0.3%
無回答	72	22.7%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	—

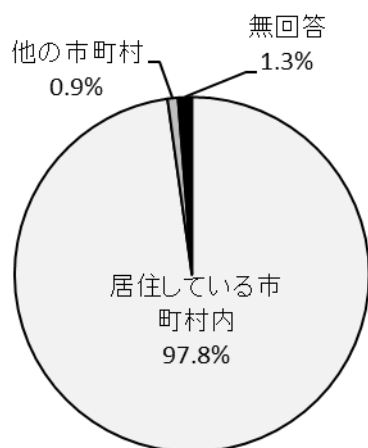
(帰園時刻)



項目	度数	構成比
14時より前	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	1	0.3%
16時	96	30.3%
17時	77	24.3%
18時	60	18.9%
18時より後	11	3.5%
無回答	72	22.7%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	—

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

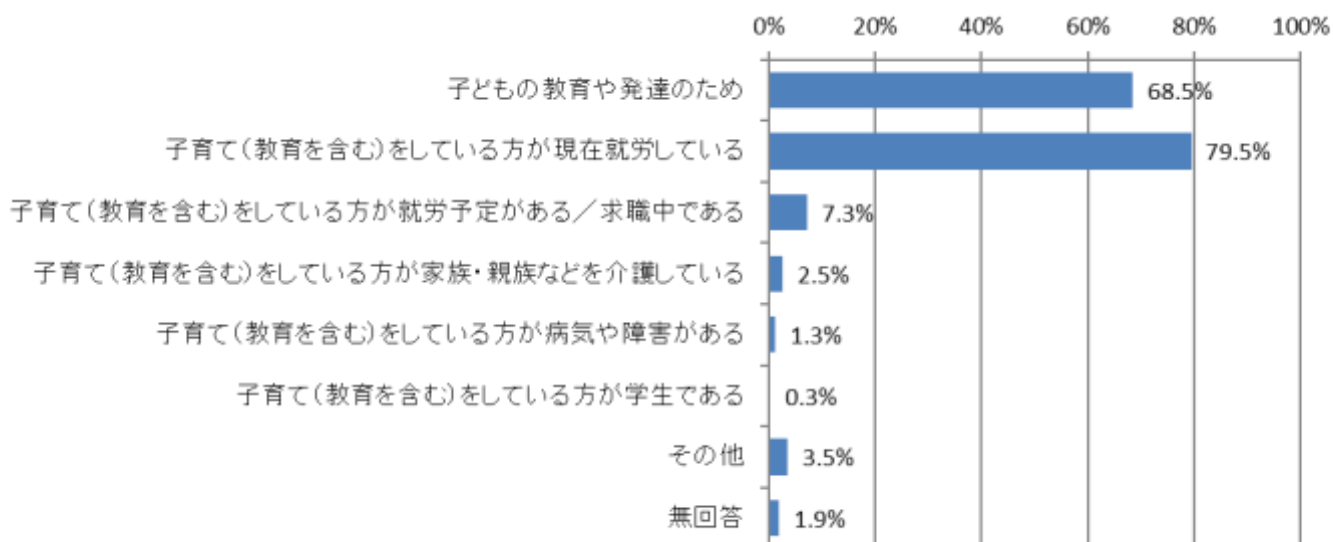
現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「居住している市町村内」の割合が 97.8%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
居住している市町村内	310	97.8%
他の市町村	3	0.9%
無回答	4	1.3%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している（79.5%）」、「子どもの教育や発達のため（68.5%）」の割合がいずれも約 7 割と高くなっています。

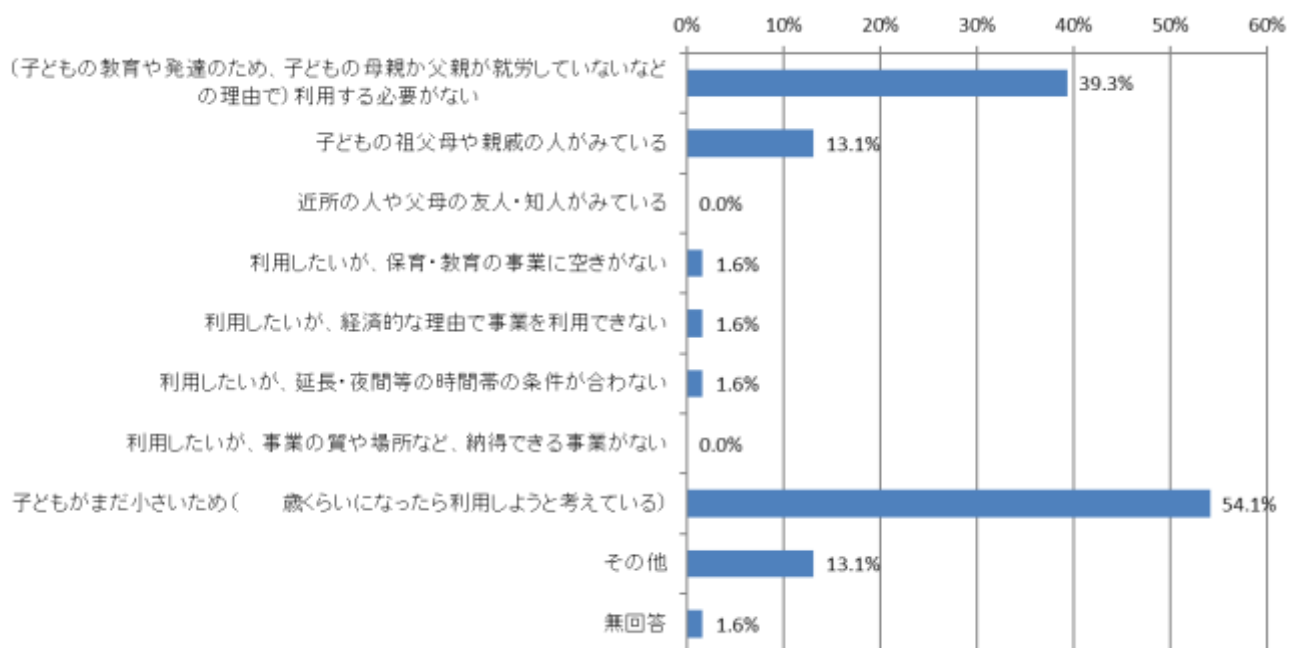


項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	217	68.5%
子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	252	79.5%
子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である	23	7.3%
子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	8	2.5%
子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	4	1.3%
子育て(教育を含む)をしている方が学生である	1	0.3%
その他	11	3.5%
無回答	6	1.9%
回答者数	317	－
非該当	61	－

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 54.1%と最も高くなっています。また、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合も 39.3%と比較的高くなっています。

また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「1 歳」の割合が 39.4%と最も高くなっています。



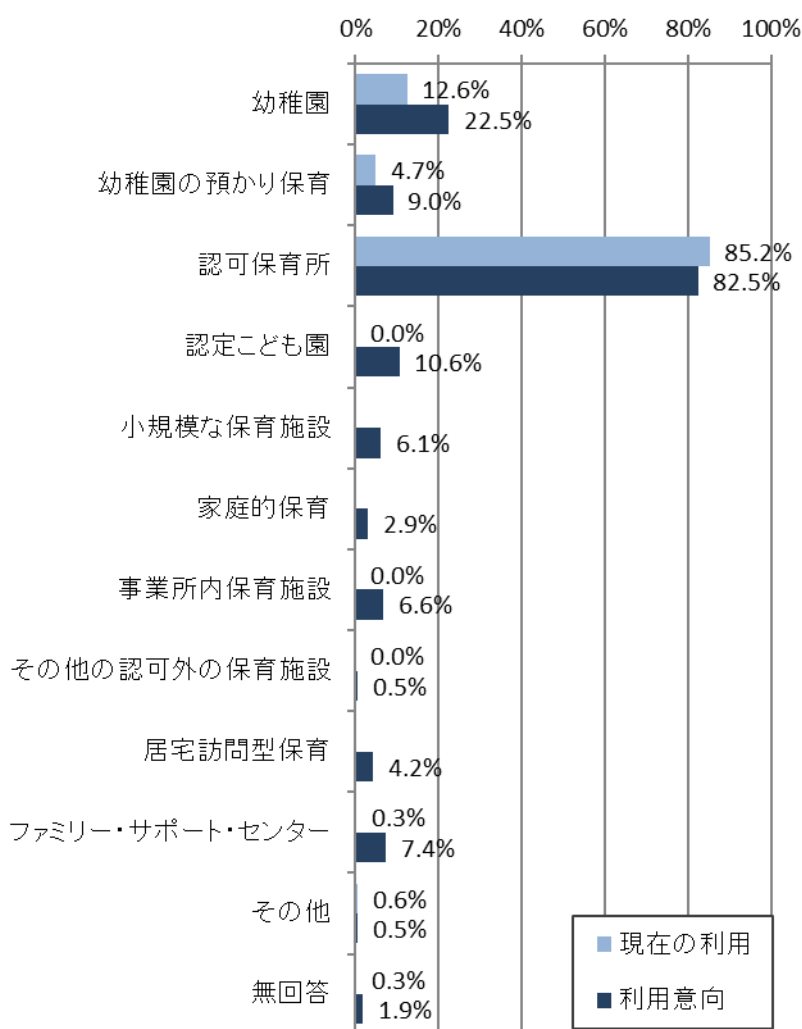
項目	度数	構成比
(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない	24	39.3%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	8	13.1%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	1	1.6%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	1	1.6%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1	1.6%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0	0.0%
子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)	33	54.1%
その他	8	13.1%
無回答	1	1.6%
回答者数	61	－
非該当	317	－

■教育・保育事業の利用開始年齢

項目	度数	構成比
1歳	13	39.4%
2歳	7	21.2%
3歳	9	27.3%
4歳	4	12.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	33	100.0%
非該当	345	－

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

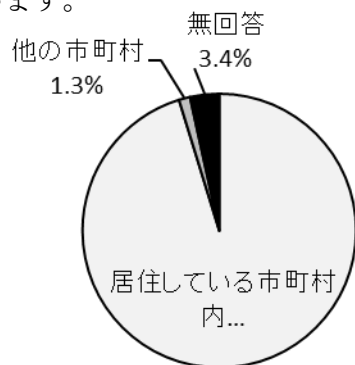
平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が82.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が22.5%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が10.6%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園(通常の就園時間の利用)	85	22.5%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	34	9.0%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	312	82.5%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	40	10.6%
小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	23	6.1%
家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	11	2.9%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	25	6.6%
その他の認可外の保育施設	2	0.5%
居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)	16	4.2%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	28	7.4%
その他	2	0.5%
無回答	7	1.9%
回答者数	378	-

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

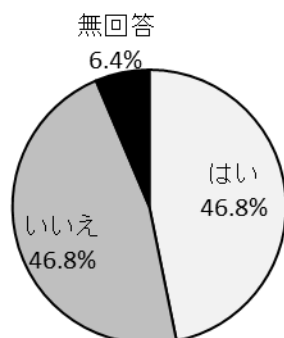
利用したい教育・保育事業の場所については、「居住している市町村内」の割合が 95.2%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
居住している市町村内	360	95.2%
他の市町村	5	1.3%
無回答	13	3.4%
回答者数	378	100.0%

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」と「いいえ」の割合は、いずれも 46.8%となっています。



項目	度数	構成比
はい	22	46.8%
いいえ	22	46.8%
無回答	3	6.4%
回答者数	47	100.0%
非該当	331	-

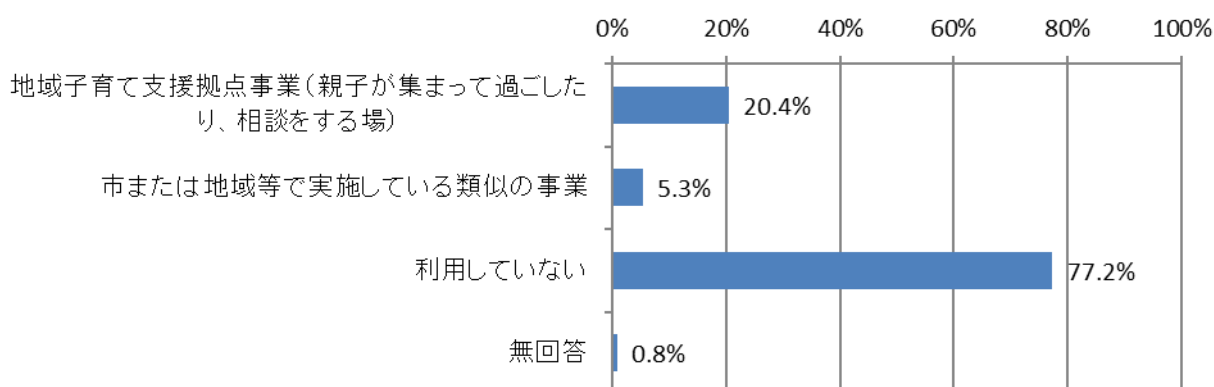
6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している割合が 20.4%に対し、「利用していない」が 77.2%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1 週当たりでは「1 回（10 件）」が多くなっています。次に、「2 回」が 6 件、「3 回」が 4 件となっています。1 ヶ月当たりでは、「1 回」～「2 回」が 45 件と多くなっています。

また、その他当該自治体で実施している類似の事業の利用は 5.3%と少なくなっています。



項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	77	20.4%
市または地域等で実施している類似の事業	20	5.3%
利用していない	292	77.2%
無回答	3	0.8%
回答者数	378	—

■地域子育て支援拠点事業の利用（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
1回	10	13.0%
2回	6	7.8%
3回	4	5.2%
4回	3	3.9%
5回	2	2.6%
無回答	52	67.5%
回答者数	77	100.0%
非該当	301	－

（1ヶ月当たり回数）

1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	29	37.7%
2回	16	20.8%
3回	7	9.1%
4回	2	2.6%
5回以上	2	2.6%
無回答	21	27.3%
回答者数	77	100.0%
非該当	301	－

■その他当該自治体で実施している類似の事業の利用（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
無回答	20	100.0%
回答者数	20	100.0%
非該当	358	－

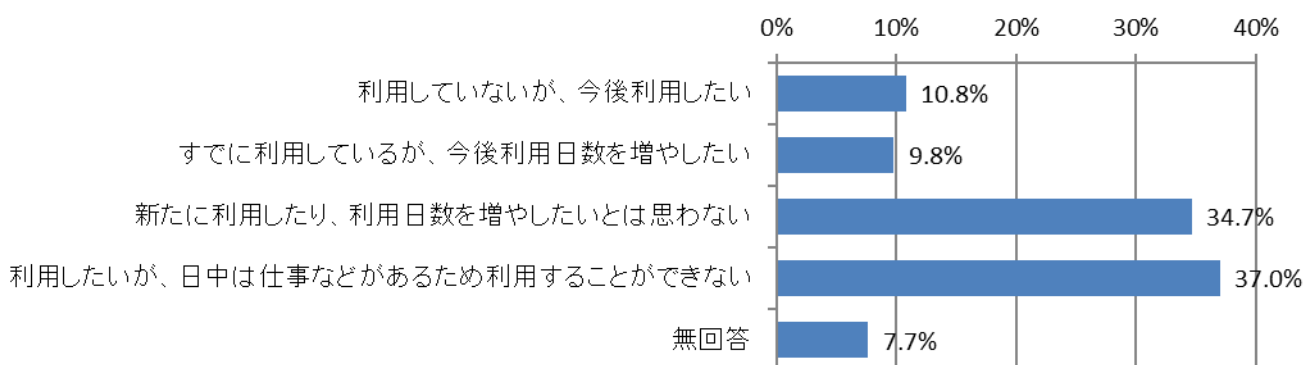
（1ヶ月当たり回数）

1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	16	80.0%
2回	3	15.0%
3回	1	
無回答	0	0.0%
回答者数	20	100.0%
非該当	358	－

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが、今後利用したい(10.8%)」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(9.8%)」の合計割合が 20.6% に対し、「利用したかが、日中は仕事などがあるため利用することができない」が 37.0%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 34.7% となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1 週当たりでは「1 回」の割合が、1 ヶ月当たりでは「1 回」～「2 回」の割合が高くなっています。



項目	度数	構成比
利用していないが、今後利用したい	41	10.8%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	37	9.8%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	131	34.7%
利用したいが、日中は仕事などがあるため利用することができない	140	37.0%
無回答	29	7.7%
回答者数	378	100.0%

■利用していないが今後利用したい（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
1回	6	14.6%
2回	2	4.9%
3回	2	4.9%
4回	0	0.0%
5回	1	2.4%
無回答	30	73.2%
回答者数	41	100.0%
非該当	337	-

（1ヶ月当たり回数）

1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	13	31.7%
2回	10	24.4%
3回	3	7.3%
4回	1	2.4%
5回以上	0	0.0%
無回答	14	34.1%
回答者数	41	100.0%
非該当	337	-

■利用回数を更に増やしたい（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
1回	9	24.3%
2回	6	16.2%
3回	2	5.4%
4回	1	2.7%
5回	0	0.0%
無回答	19	51.4%
回答者数	37	100.0%
非該当	341	-

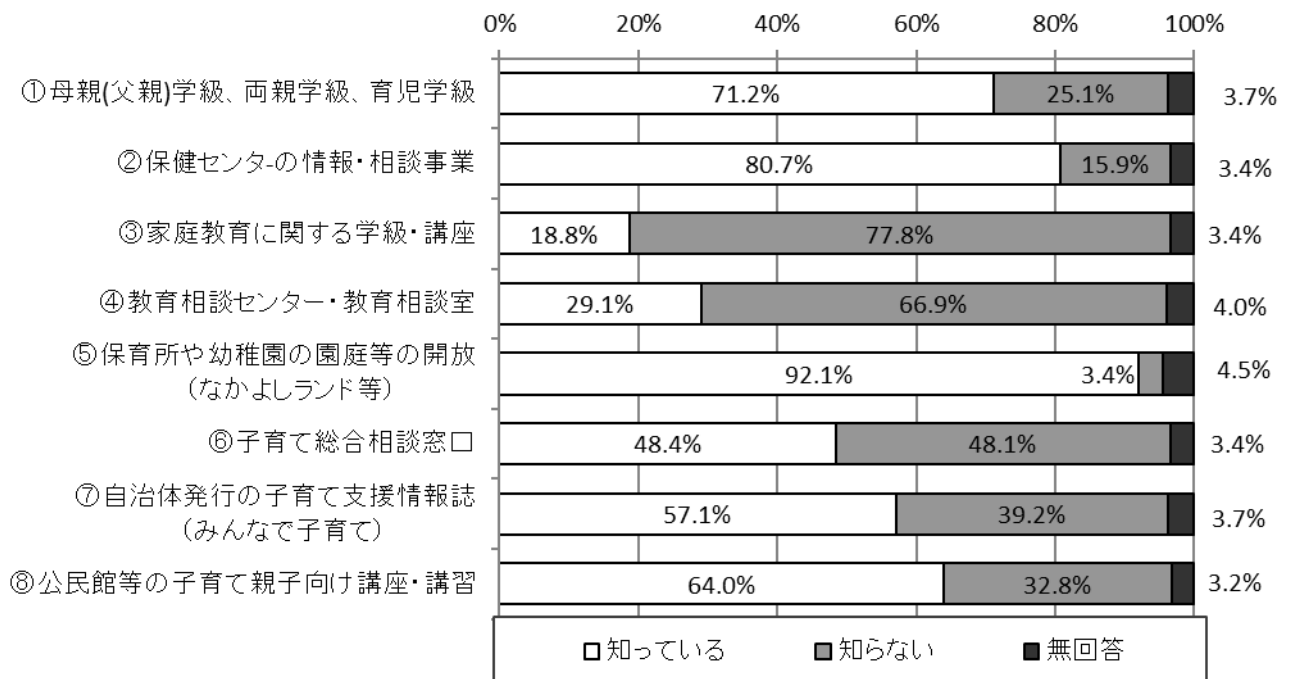
（1ヶ月当たり回数）

1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	5	13.5%
2回	8	21.6%
3回	1	2.7%
4回	0	0.0%
5回以上	2	5.4%
無回答	21	56.8%
回答者数	37	100.0%
非該当	341	-

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

認知度は、「保育所や幼稚園等の開放（92.1%）」が最も高く、「保健センターの情報・相談事業（71.2%）」、「母親(父親)学級（71.2%）」の割合がいずれも7割を越え高くなっています。

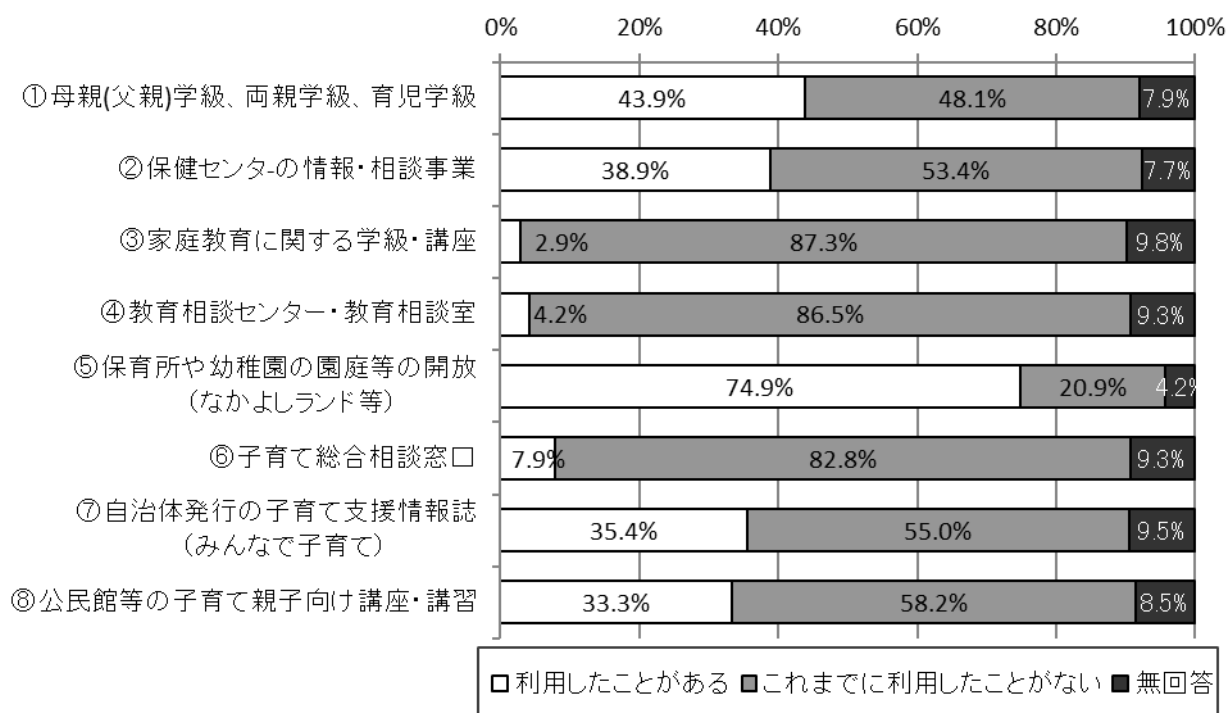
■認知度



項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	269	95	14	378
	71.2%	25.1%	3.7%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	305	60	13	378
	80.7%	15.9%	3.4%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	71	294	13	378
	18.8%	77.8%	3.4%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	110	253	15	378
	29.1%	66.9%	4.0%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	348	13	17	378
	92.1%	3.4%	4.5%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	183	182	13	378
	48.4%	48.1%	3.4%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	216	148	14	378
	57.1%	39.2%	3.7%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	242	124	12	378
	64.0%	32.8%	3.2%	100.0%

利用度は、「保育所や幼稚園の園庭等の開放（74.9%）」が最も高く、次いで「母親(父親)学級（43.9%）」、「保健センターの情報・相談事業(38.9%)」の割合が比較的高くなっています。

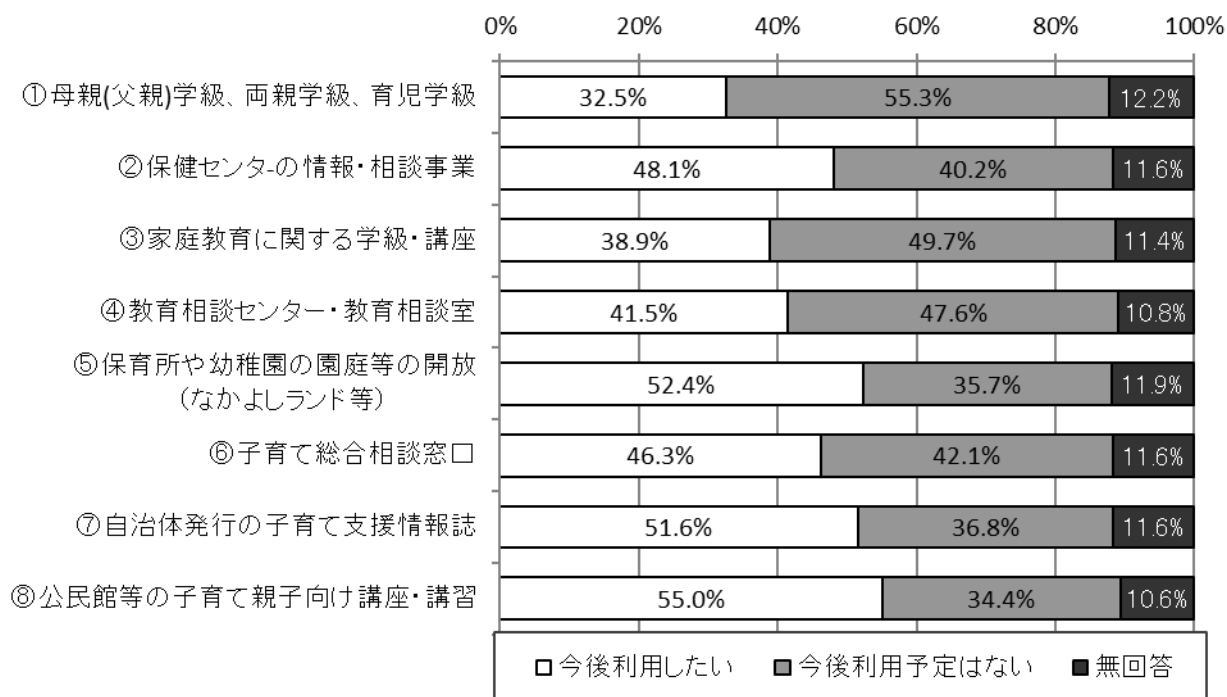
■利用度



項目	利用したことがある	これまでに利用したことがない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	166	182	30	378
	43.9%	48.1%	7.9%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	147	202	29	378
	38.9%	53.4%	7.7%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	11	330	37	378
	2.9%	87.3%	9.8%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	16	327	35	378
	4.2%	86.5%	9.3%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	283	79	16	378
	74.9%	20.9%	4.2%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	30	313	35	378
	7.9%	82.8%	9.3%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	134	208	36	378
	35.4%	55.0%	9.5%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	126	220	32	378
	33.3%	58.2%	8.5%	100.0%

利用意向は、「公民館等の子育て親子向け講座・講習（55.0%）」、「保育所や幼稚園の園庭等の開放（52.4%）」、「自治体発行の子育て情報誌（51.6%）」となっています。

■利用意向



項目	今後利用したい	今後利用予定はない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	123	209	46	378
	32.5%	55.3%	12.2%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	182	152	44	378
	48.1%	40.2%	11.6%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	147	188	43	378
	38.9%	49.7%	11.4%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	157	180	41	378
	41.5%	47.6%	10.8%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	198	135	45	378
	52.4%	35.7%	11.9%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	175	159	44	378
	46.3%	42.1%	11.6%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	195	139	44	378
	51.6%	36.8%	11.6%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	208	130	40	378
	55.0%	34.4%	10.6%	100.0%

7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

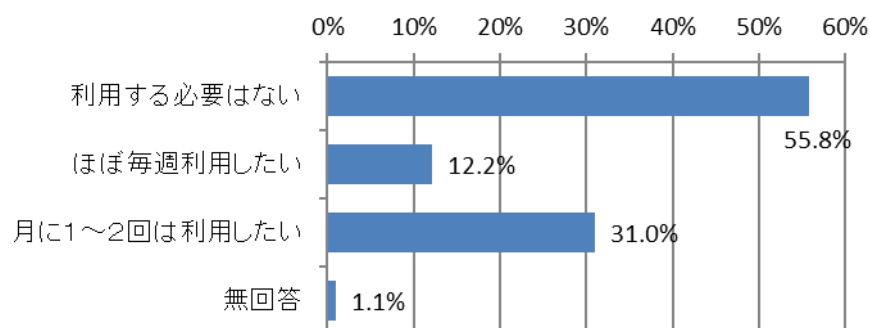
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 55.8%に対し、「ほぼ毎週利用したい (12.2%)」と「月に 1～2 回は利用したい (31.0%)」の合計割合は 43.2%となっています。

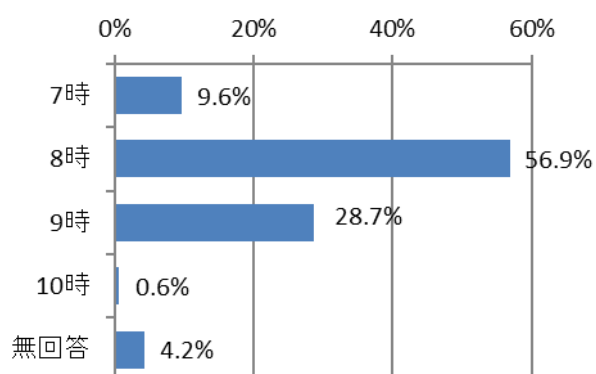
また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8 時 (56.9%)」、帰園時刻については、「18 時 (28.7%)」の割合が比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	211	55.8%
ほぼ毎週利用したい	46	12.2%
月に1～2回は利用したい	117	31.0%
無回答	4	1.1%
回答者数	378	100.0%

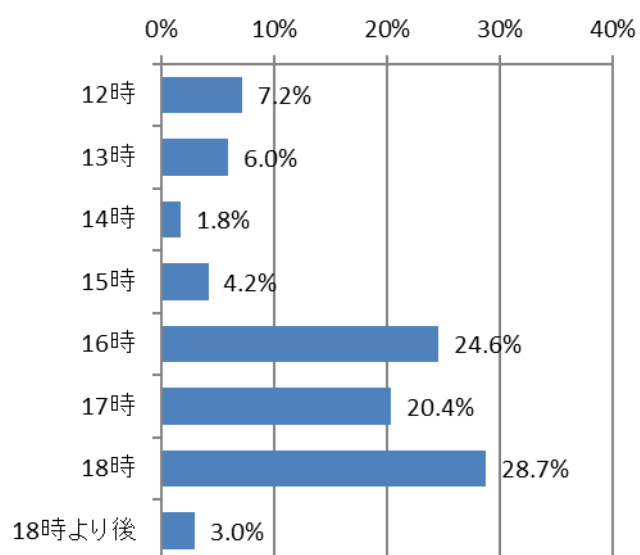
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
7時	16	9.6%
8時	95	56.9%
9時	48	28.7%
10時	1	0.6%
無回答	7	4.2%
回答者数	167	100.0%
非該当	211	-

(帰園時刻)

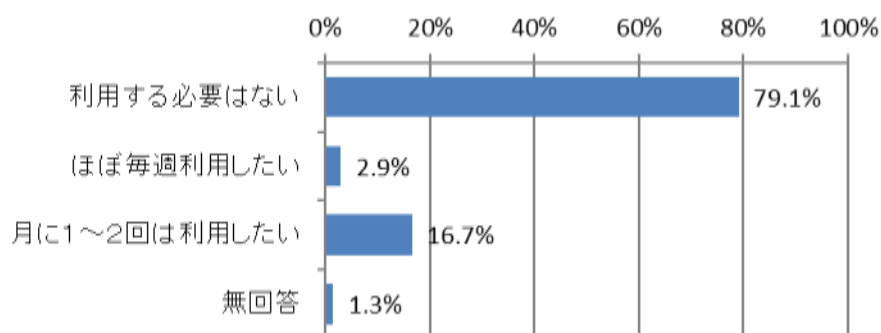


項目	度数	構成比
12時	12	7.2%
13時	10	6.0%
14時	3	1.8%
15時	7	4.2%
16時	41	24.6%
17時	34	20.4%
18時	48	28.7%
18時より後	5	3.0%
無回答	7	4.2%
回答者数	167	100.0%
非該当	211	-

(2) 日曜・祝日

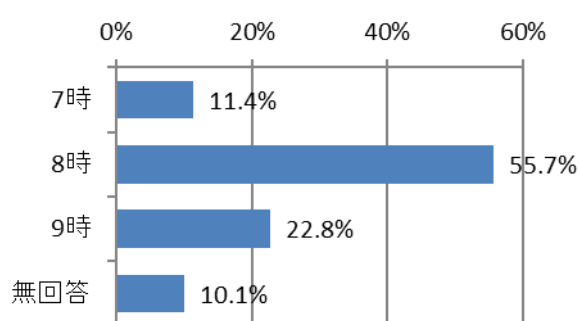
日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 79.1% に対し、「ほぼ毎週利用したい (2.9%)」と「月に 1～2 回は利用したい (16.7%)」の合計割合は 19.6%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8 時 (55.7%)」、帰園時刻については、「18 時 (34.2%)」の割合が比較的高くなっています。



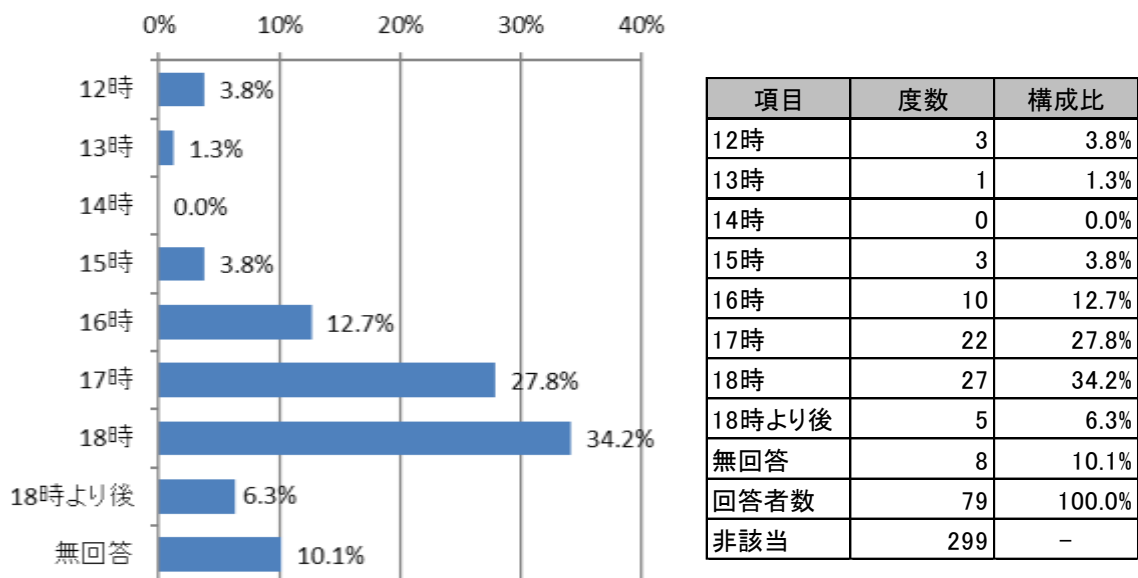
項目	度数	構成比
利用する必要はない	299	79.1%
ほぼ毎週利用したい	11	2.9%
月に1～2回は利用したい	63	16.7%
無回答	5	1.3%
回答者数	378	100.0%

■利用時間帯 (登園時刻)



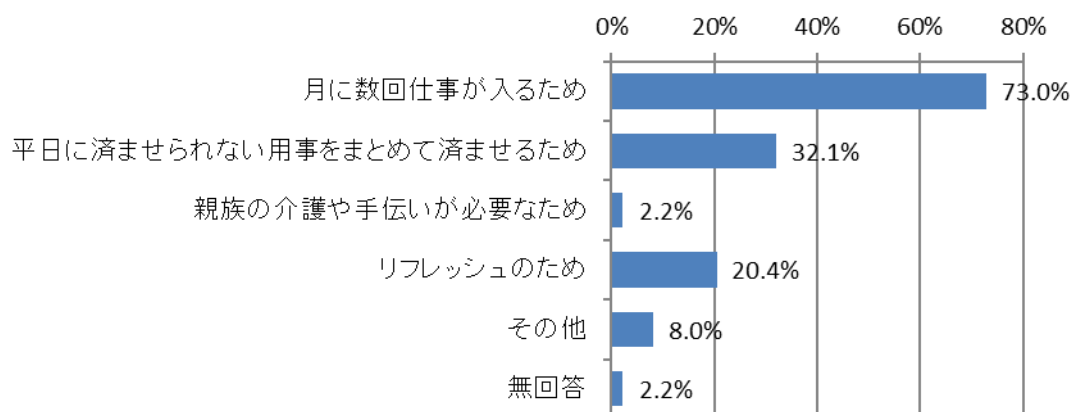
項目	度数	構成比
7時	9	11.4%
8時	44	55.7%
9時	18	22.8%
無回答	8	10.1%
回答者数	79	100.0%
非該当	299	—

(帰園時刻)



問 20-1 問 20 の（１）もしくは（２）で、「3月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日や日曜・祝日の教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」の割合が 73.0%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 32.1%と続いています。

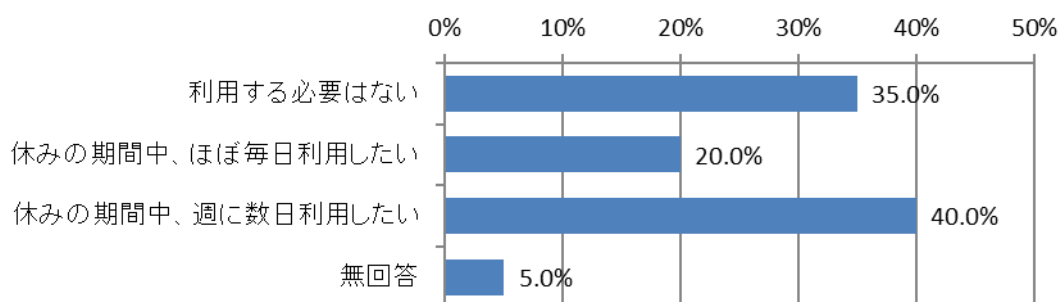


項目	度数	構成比
月に数回仕事が入るため	100	73.0%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	44	32.1%
親族の介護や手伝いが必要なため	3	2.2%
リフレッシュのため	28	20.4%
その他	11	8.0%
無回答	3	2.2%
回答者数	137	-
非該当	241	-

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 0 9 時～1 8 時 (例) のように 2 4 時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 35.0%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい (20.0%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい (40.0%)」の合計割合は 60.0%となっています。

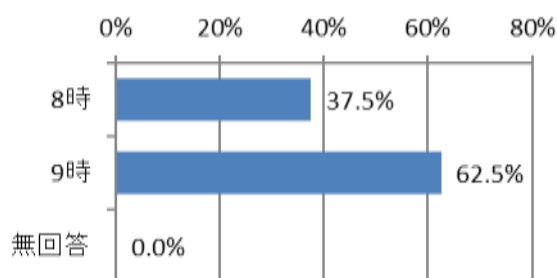
また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「9 時 (62.5%)」、帰園時刻については、「16 時 (45.8%)」の割合が比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	14	35.0%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	8	20.0%
休みの期間中、週に数日利用したい	16	40.0%
無回答	2	5.0%
回答者数	40	100.0%
非該当	338	—

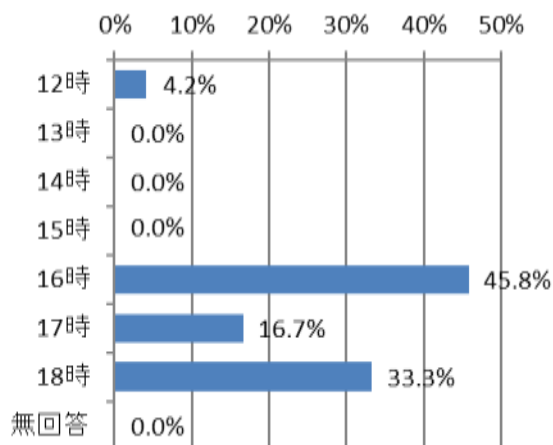
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
8時	9	37.5%
9時	15	62.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	24	100.0%
非該当	354	—

(帰園時刻)



項目	度数	構成比
12時	1	4.2%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	11	45.8%
17時	4	16.7%
18時	8	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	24	100.0%
非該当	354	－

問 21-1 問 21 で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

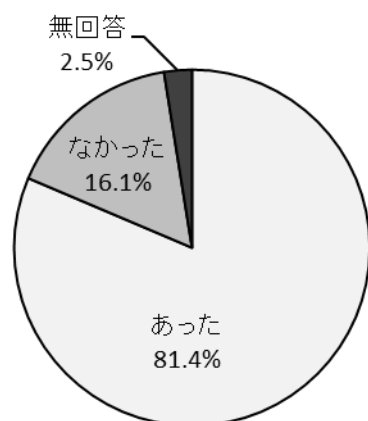
幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため（12 件）」、「リフレッシュのため（3 件）」が多くなっています。

項目	度数	構成比
週に数回仕事が入るため	12	75.0%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	2	12.5%
親等親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0%
リフレッシュのため	3	18.8%
その他	3	18.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	16	－
非該当	362	－

8 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

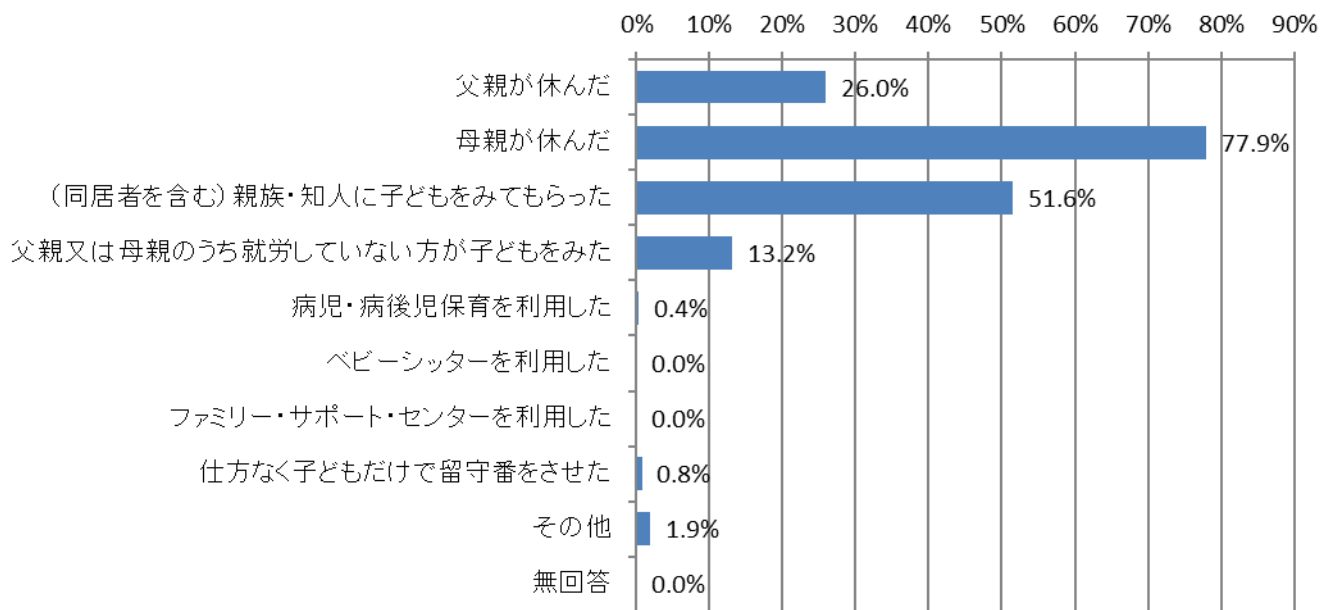
平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」の割合が 81.4%に対し、「なかった」が 16.1%と、「あった」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
あった	258	81.4%
なかった	51	16.1%
無回答	8	2.5%
回答者数	317	100.0%
非該当	61	-

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」の割合が77.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が51.6%、「父親が休んだ」が26.0%となっています。



項目	度数	構成比
父親が休んだ	67	26.0%
母親が休んだ	201	77.9%
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	133	51.6%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	34	13.2%
病児・病後児保育を利用した	1	0.4%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.8%
その他	5	1.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	258	—
非該当	120	—

■年間対処日数

(父親)

日数	度数	構成比
1日～3日	44	65.7%
4日～7日	17	25.4%
8日～10日	2	3.0%
11日～20日	2	3.0%
21日以上	1	1.5%
無回答	1	1.5%
回答者数	67	100.0%
非該当	311	－

(母親)

日数	度数	構成比
1日～3日	62	30.8%
4日～7日	59	29.4%
8日～10日	37	18.4%
11日～20日	21	10.4%
21日以上	7	3.5%
無回答	15	7.5%
回答者数	201	100.0%
非該当	177	－

(親族・知人)

日数	度数	構成比
1日～3日	48	36.1%
4日～7日	42	31.6%
8日～10日	20	15.0%
11日～20日	10	7.5%
21日以上	2	1.5%
無回答	11	8.3%
回答者数	133	100.0%
非該当	245	－

(就労していない保護者)

日数	度数	構成比
1日～3日	7	20.6%
4日～7日	14	41.2%
8日～10日	4	11.8%
11日～20日	1	2.9%
21日以上	3	8.8%
無回答	5	14.7%
回答者数	34	100.0%
非該当	344	－

(病児・病後児保育)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	100.0%
無回答	0	
回答者数	1	100.0%
非該当	378	－

(子どもだけで留守番)

日数	度数	構成比
1日～3日	2	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	－

(その他)

日数	度数	構成比
1日～3日	2	40.0%
4日～7日	1	20.0%
無回答	2	40.0%
回答者数	5	100.0%
非該当	373	－

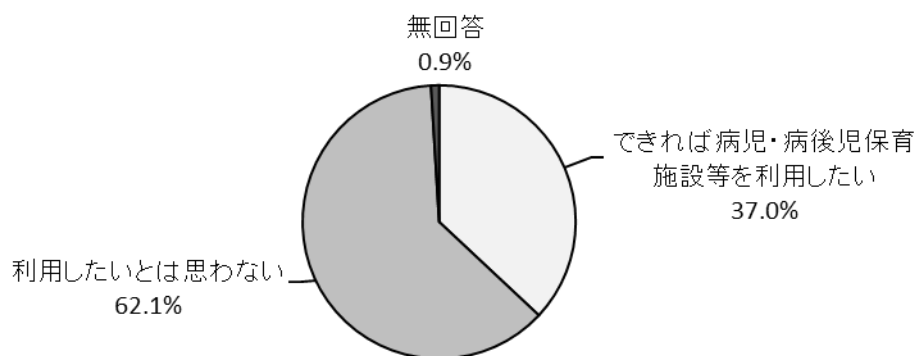
※ベビーシッター、ファミリー・サポート・センターの回答はなし

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 37.0%に対し、「利用したいとは思わない」が 62.1%となっています。

また、利用希望日数は、年間で「4 日～7 日（39.7%）」の割合が高くなっています。



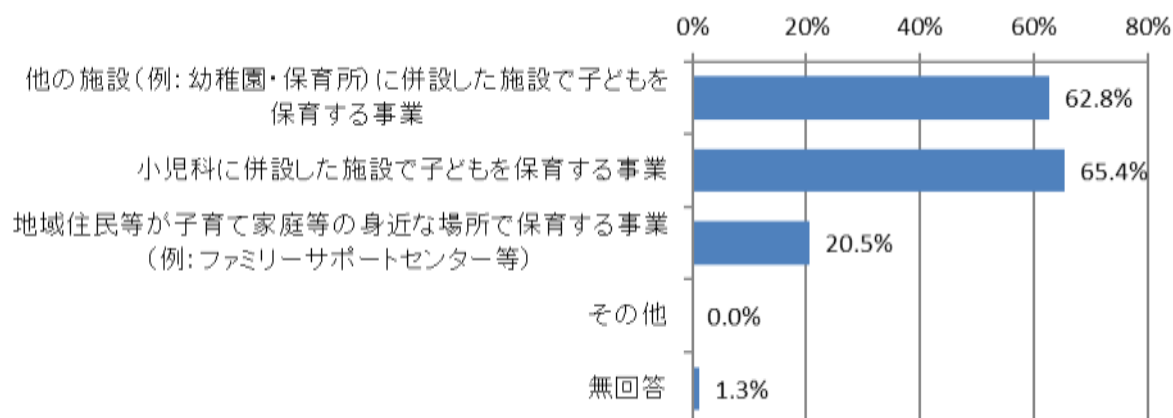
項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	78	37.0%
利用したいとは思わない	131	62.1%
無回答	2	0.9%
回答者数	211	100.0%
非該当	167	－

■利用希望日数

日数	度数	構成比
1日～3日	20	25.6%
4日～7日	31	39.7%
8日～10日	6	7.7%
11日～20日	4	5.1%
無回答	17	21.8%
回答者数	78	100.0%
非該当	300	－

問 22-3 問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

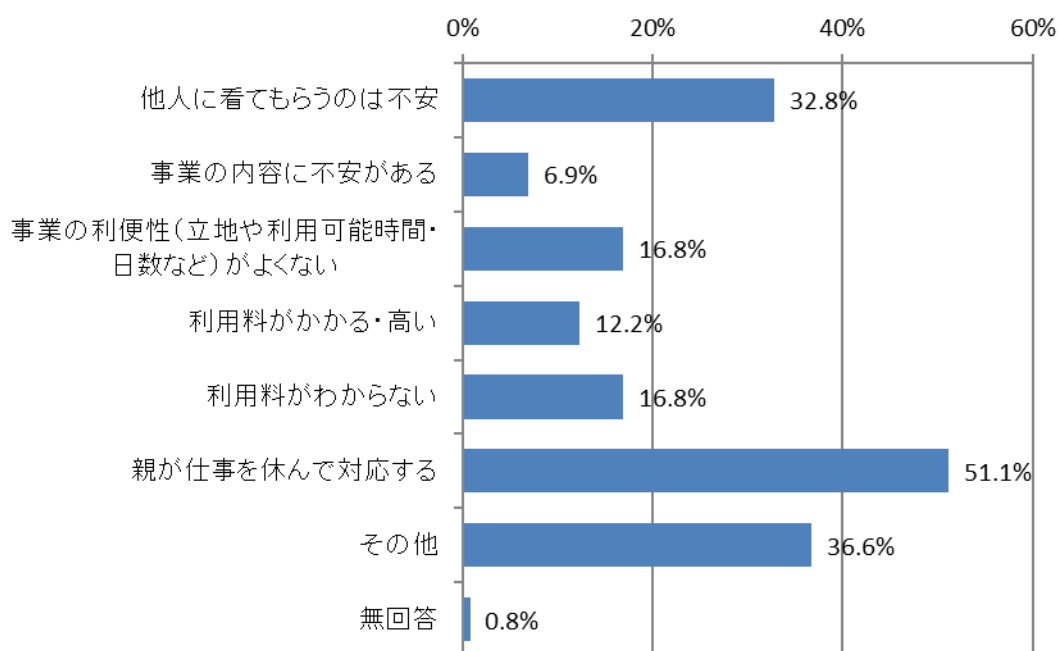
病児・病後児保育施設の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 65.4%と最も高く、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.8%と続いています。



項目	度数	構成比
他の施設（例：幼稚園・保育所）に併設した施設で子どもを保育する事業	49	62.8%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	51	65.4%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）	16	20.5%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.3%
回答者数	78	－
非該当	300	－

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する（51.1%）」、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安（32.8%）」の割合がいずれも高くなっています。



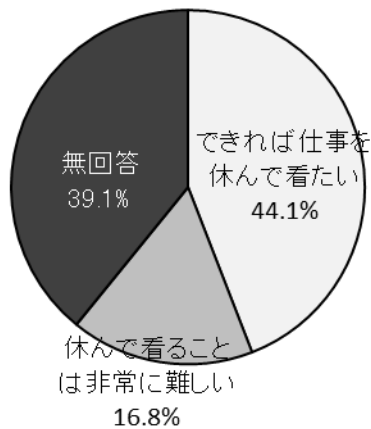
項目	度数	構成比
他人に看てもらうのは不安	43	32.8%
事業の内容に不安がある	9	6.9%
事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	22	16.8%
利用料がかかる・高い	16	12.2%
利用料がわからない	22	16.8%
親が仕事を休んで対応する	67	51.1%
その他	48	36.6%
無回答	1	0.8%
回答者数	131	－
非該当	247	－

問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

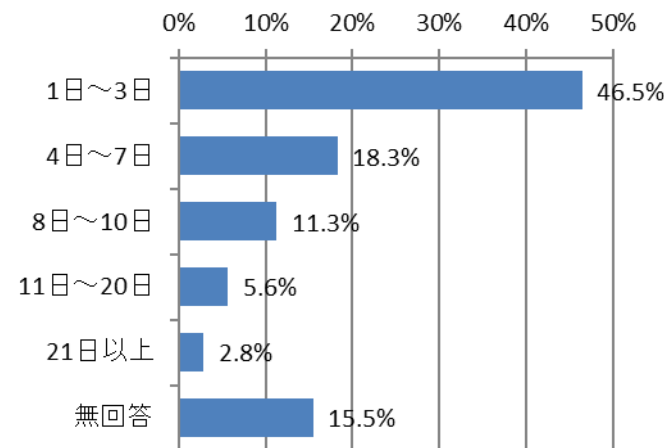
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法で、父親や母親が休んだ以外を回答した保護者のうち、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 44.1%に対し、「休んで看することは非常に難しい」が 16.8%と、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が上回っています。

また、父親や母親が休んで子どもを看たい日数は、年間「1 日～3 日」の割合が 46.5%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば仕事を休んで看たい	71	44.1%
休んで看ことは非常に難しい	27	16.8%
無回答	63	39.1%
回答者数	161	100.0%
非該当	217	-

■休んで子どもを看たい日数



日数	度数	構成比
1日～3日	33	46.5%
4日～7日	13	18.3%
8日～10日	8	11.3%
11日～20日	4	5.6%
21日以上	2	2.8%
無回答	11	15.5%
回答者数	71	100.0%
非該当	307	-

問 22-6 問 22-5「2.休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

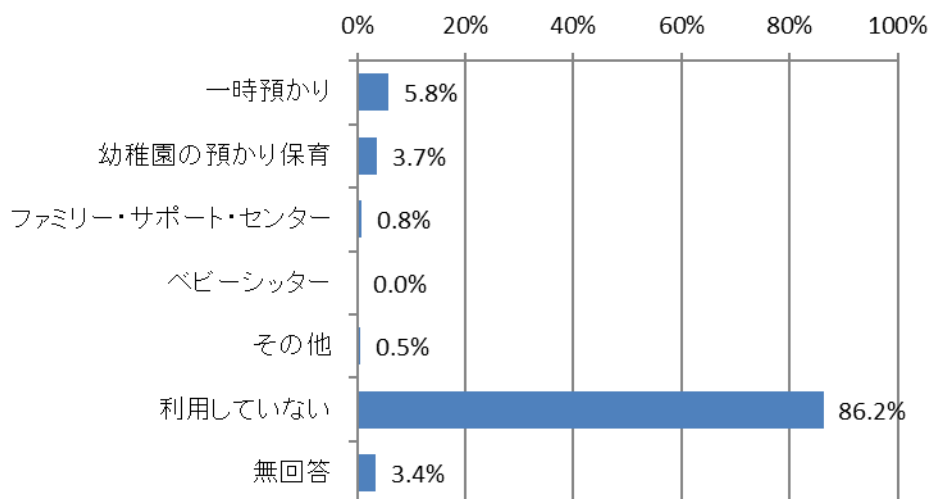
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったとき、父親や母親が休んで看することは難しいと回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 25.9%、「休暇日数が足りないで休めない」の割合が 22.2%と高くなっています。

項目	度数	構成比
子どもの看護を理由に休みがとれない	7	25.9%
自営業なので休めない	4	14.8%
休暇日数が足りないで休めない	6	22.2%
その他	11	40.7%
無回答	1	3.7%
回答者数	27	－
非該当	351	－

9 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を 伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業は、「一時預かり（5.8%）」「幼稚園の預かり保育（3.7%）」の割合がそれぞれ数パーセントとなっており、「利用していない」の割合が86.2%と高くなっています。



項目	度数	構成比
一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	22	5.8%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ)	14	3.7%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	3	0.8%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	2	0.5%
利用していない	326	86.2%
無回答	13	3.4%
回答者数	378	—

■年間利用日数

(一時預かり)

日数	度数	構成比
1日～3日	13	59.1%
4日～7日	3	13.6%
8日～10日	1	4.5%
11日～20日	0	0.0%
21日以上	3	13.6%
無回答	2	9.1%
回答者数	22	100.0%
非該当	356	-

(幼稚園の預かり保育)

日数	度数	構成比
1日～3日	3	21.4%
4日～7日	3	21.4%
8日～10日	3	21.4%
11日～20日	1	7.1%
31日以上	1	7.1%
無回答	3	21.4%
回答者数	14	100.0%
非該当	364	-

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	33.3%
無回答	2	66.7%
回答者数	3	66.7%
非該当	375	-

(その他)

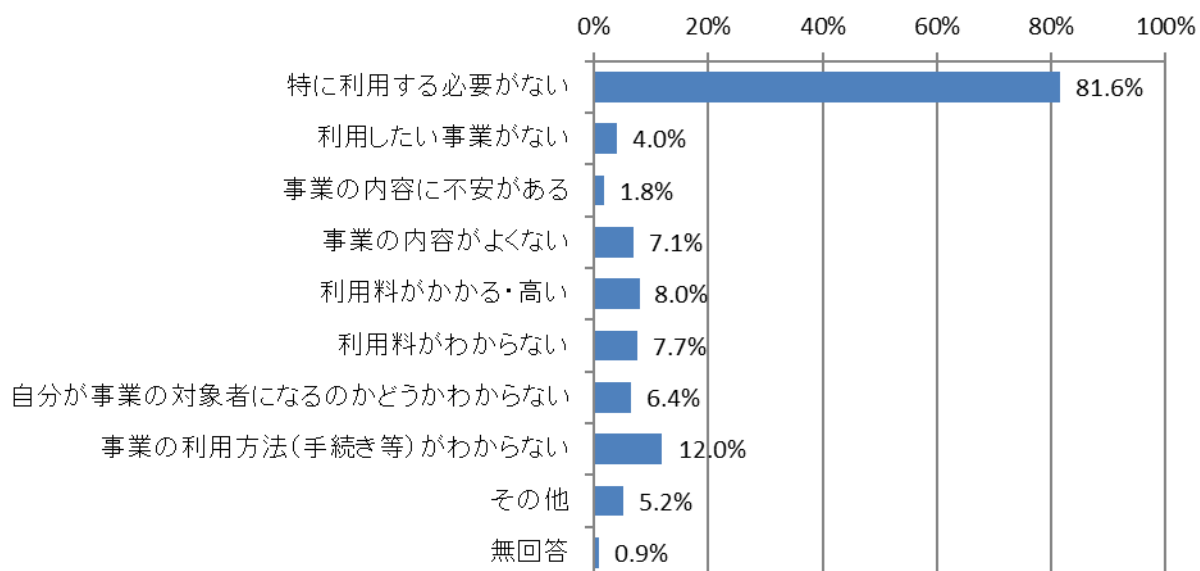
日数	度数	構成比
11日～20日	1	50.0%
31日以上	1	50.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	-

※ベビーシッターの回答はなし

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」の割合が 81.6%と最も高くなっています。また、「利用料がかかる・高い (8.0%)」「事業の利用方法(手続き等)がわからない (12.0%)」などが理由で比較的高くなっています。

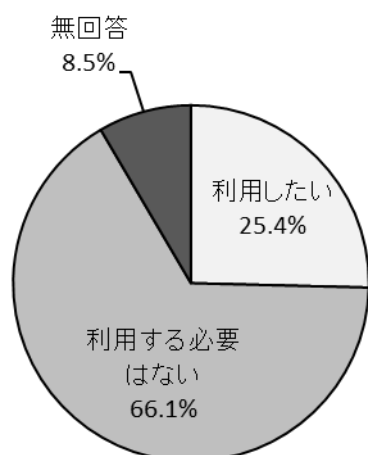


項目	度数	構成比
特に利用する必要がない	266	81.6%
利用したい事業がない	13	4.0%
事業の内容に不安がある	6	1.8%
事業の内容(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	23	7.1%
利用料がかかる・高い	26	8.0%
利用料がわからない	25	7.7%
自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	21	6.4%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	39	12.0%
その他	17	5.2%
無回答	3	0.9%
回答者数	326	－
非該当	52	－

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

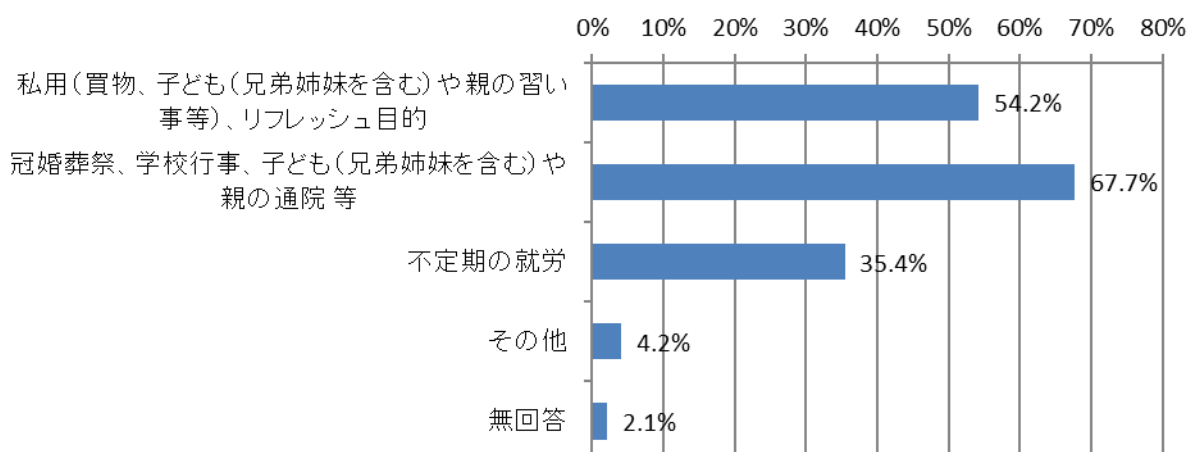
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 25.4% に対し、「利用する必要はない」が 66.1% となっています。

また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（54.2%）」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（67.7%）」の割合が高く、年間利用日数の合計では、「8 日～10 日」の割合が 22.9% と高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	96	25.4%
利用する必要はない	250	66.1%
無回答	32	8.5%
回答者数	378	100.0%

■利用目的



項目	度数	構成比
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	52	54.2%
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	65	67.7%
不定期の就労	34	35.4%
その他	4	4.2%
無回答	2	2.1%
回答者数	96	－
非該当	282	－

■年間利用日数

(年間合計)

日数	度数	構成比
1日～3日	13	13.5%
4日～7日	20	20.8%
8日～10日	22	22.9%
11日～20日	10	10.4%
21日～30日	11	11.5%
31日以上	12	12.5%
無回答	8	8.3%
回答者数	96	100.0%
非該当	282	－

(私用、リフレッシュ目的)

日数	度数	構成比
1日～3日	12	23.1%
4日～7日	17	32.7%
8日～10日	10	19.2%
11日～20日	3	5.8%
21日～30日	2	3.8%
31日以上	5	9.6%
無回答	3	5.8%
回答者数	52	100.0%
非該当	326	－

(冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等)

日数	度数	構成比
1日～3日	20	30.8%
4日～7日	20	30.8%
8日～10日	17	26.2%
11日～20日	1	1.5%
21日～30日	1	1.5%
31日以上	0	0.0%
無回答	6	9.2%
回答者数	65	100.0%
非該当	313	－

(不定期の就労)

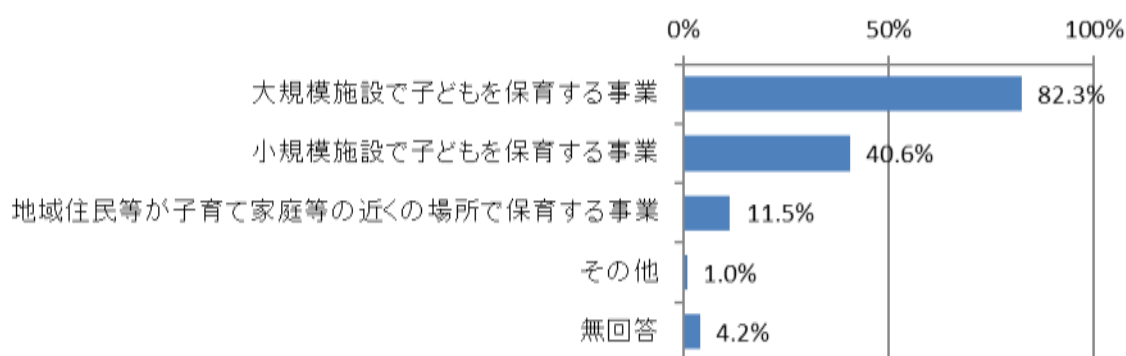
日数	度数	構成比
1日～3日	5	14.7%
4日～7日	4	11.8%
8日～10日	6	17.6%
11日～20日	7	20.6%
21日～30日	4	11.8%
31日以上	3	8.8%
無回答	5	14.7%
回答者数	34	100.0%
非該当	344	－

(その他)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	25.0%
4日～7日	1	25.0%
8日～10日	1	25.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	1	0.3%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	4	75.3%
非該当	374	－

問 24-1 問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 82.3%と最も高くなっています。

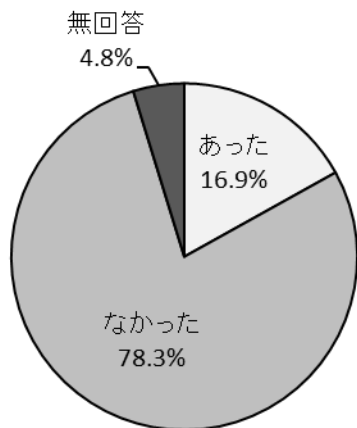


項目	度数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	79	82.3%
小規模施設で子どもを保育する事業	39	40.6%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	11	11.5%
その他	1	1.0%
無回答	4	4.2%
回答者数	96	－
非該当	282	－

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁一字）。

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」の割合が16.9%に対し、「なかった」が78.3%となっています。

また、そのときの対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が55件と最も高く、その年間対処日数は「1日～3日」が32件と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
あった	64	16.9%
なかった	296	78.3%
無回答	18	4.8%
回答者数	378	100.0%

■対処方法

項目	度数	構成比
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	55	27.6%
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	1	0.5%
ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	0	0.0%
仕方なく子どもを同行させた	10	5.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
その他	1	0.5%
無回答	1	0.5%
回答者数	199	-
非該当	314	-

■年間対処日数

（親族・知人）

日数	度数	構成比
1日～3日	32	58.2%
4日～7日	10	18.2%
8日～10日	5	9.1%
11日～20日	3	5.5%
21日以上	3	5.5%
無回答	2	3.6%
回答者数	55	100.0%
非該当	323	-

（短期入所生活援助事業）

日数	度数	構成比
8日～10日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	377	-

(子どもを同行)

日数	度数	構成比
1日～3日	7	70.0%
4日～7日	1	10.0%
無回答	2	20.0%
回答者数	10	100.0%
非該当	368	－

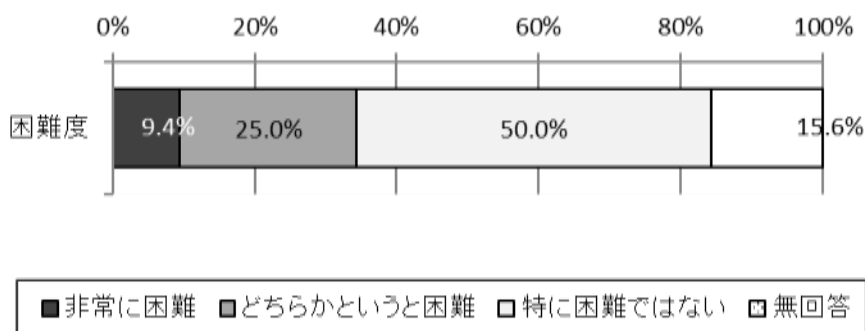
※子どもだけで留守番、ショートステイ以外、その他の保育事業の回答はなし

問 25 で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア.以外を選択した方は問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった困難度は、「困難（「非常に困難（9.4%）」と「どちらかという困難（25.0%）」の合計）の割合が 34.4%に対し、「特に困難でない」が 50.0%と、特に困難でないが上回っています。

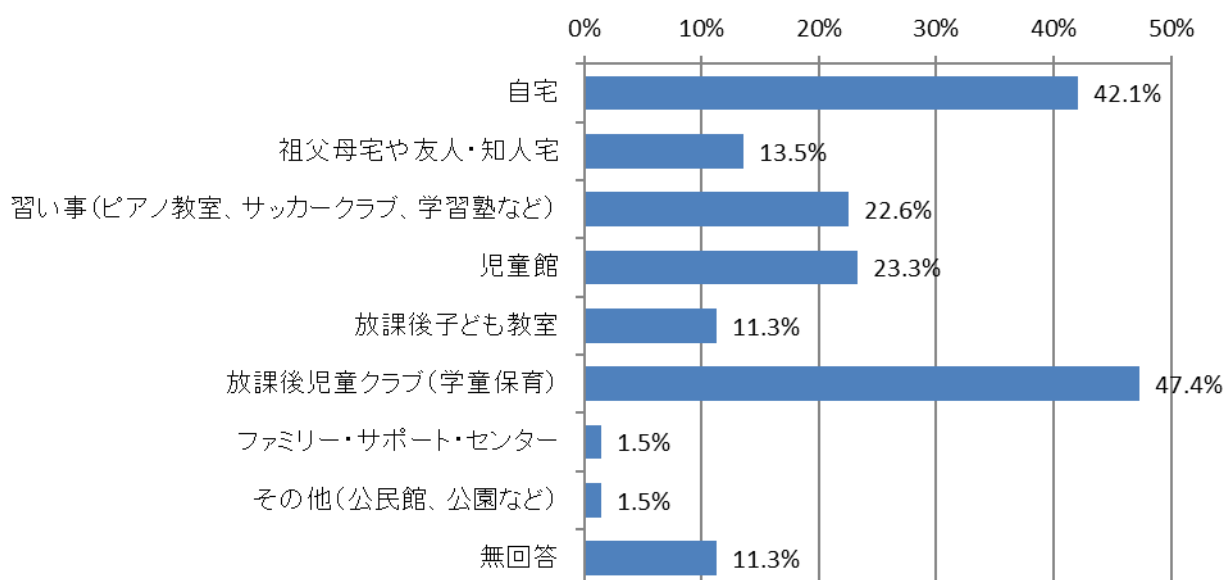


項目	度数	構成比
非常に困難	6	9.4%
どちらかという困難	16	25.0%
特に困難ではない	32	50.0%
無回答	10	15.6%
回答者数	64	100.0%
非該当	314	－

10 宛名のお子さんが小学校に入学してからの放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が47.4%と最も高く、ついで、「自宅」が42.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.6%と、比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
自宅	56	42.1%
祖父母宅や友人・知人宅	18	13.5%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	30	22.6%
児童館	31	23.3%
放課後子ども教室	15	11.3%
放課後児童クラブ(学童保育)	63	47.4%
ファミリー・サポート・センター	2	1.5%
その他(公民館、公園など)	2	1.5%
無回答	15	11.3%
回答者数	133	—
非該当	245	—

■ 1 週当たり利用希望日数等

(自宅)

日数	度数	構成比
1日	4	7.1%
2日	10	17.9%
3日	8	14.3%
4日	4	7.1%
5日	22	39.3%
無回答	8	14.3%
回答者数	56	100.0%
非該当	322	－

(祖父母宅や友人・知人宅)

日数	度数	構成比
1日	4	22.2%
2日	4	22.2%
3日	2	11.1%
4日	0	0.0%
5日	5	27.8%
無回答	3	16.7%
回答者数	18	100.0%
非該当	360	－

(習い事)

日数	度数	構成比
1日	18	60.0%
2日	8	26.7%
3日	2	6.7%
4日	1	3.3%
無回答	1	3.3%
回答者数	30	100.0%
非該当	348	－

(児童館)

日数	度数	構成比
1日	5	16.1%
2日	6	19.4%
3日	4	12.9%
4日	1	3.2%
5日	12	38.7%
無回答	3	9.7%
回答者数	31	100.0%
非該当	347	－

(放課後子ども教室)

日数	度数	構成比
1日	4	26.7%
2日	3	20.0%
3日	2	13.3%
4日	0	0.0%
5日	6	40.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	15	100.0%
非該当	363	－

(放課後児童クラブ)

日数	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	4	6.3%
3日	8	12.7%
4日	3	4.8%
5日	47	74.6%
無回答	1	1.6%
回答者数	63	100.0%
非該当	315	－

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)

時間	度数	構成比
16時	2	3.2%
17時	18	28.6%
18時	35	55.6%
19時	6	9.5%
無回答	2	3.2%
回答者数	63	100.0%
非該当	315	－

(ファミリー・サポート・センター)

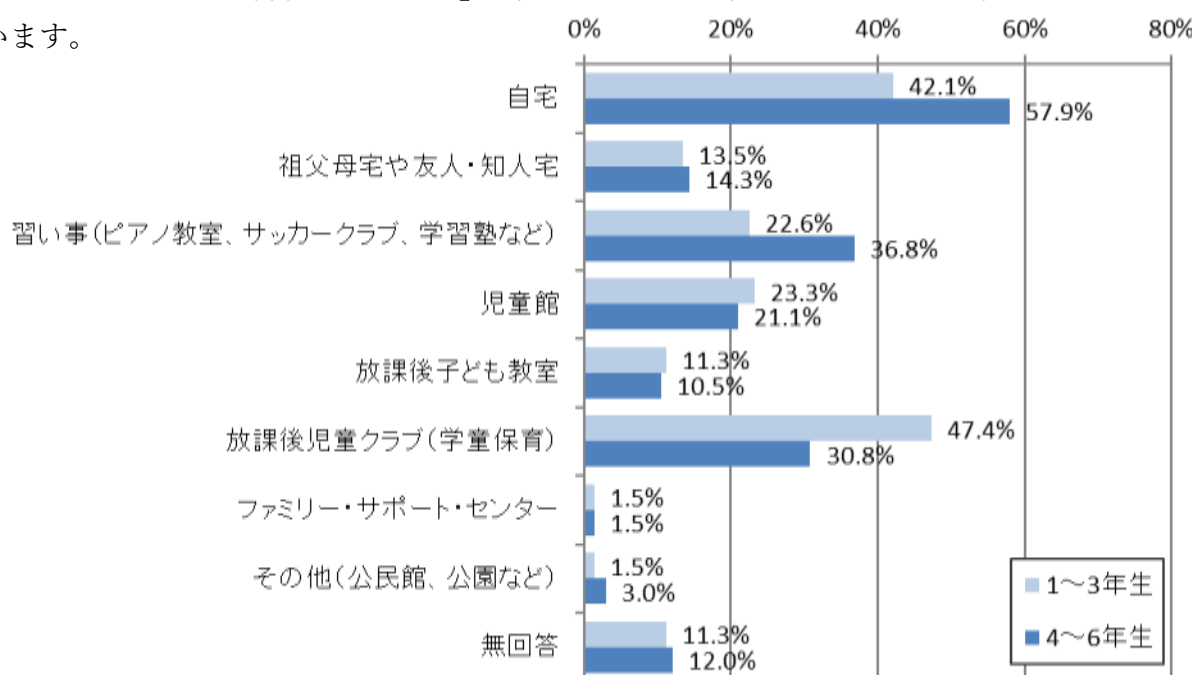
日数	度数	構成比
5日	2	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	－

(その他 (公民館・公園など))

日数	度数	構成比
3日	1	50.0%
4日	1	50.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	－

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

小学校高学年（４～６年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が 57.9%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 36.8%と続いています。また、「放課後児童クラブ」の割合は、１～３年生のときと比べ減少し、30.8%となっています。



項目	度数	構成比
自宅	77	57.9%
祖父母宅や友人・知人宅	19	14.3%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	49	36.8%
児童館	28	21.1%
放課後子ども教室	14	10.5%
放課後児童クラブ(学童保育)	41	30.8%
ファミリー・サポート・センター	2	1.5%
その他(公民館、公園など)	4	3.0%
無回答	16	12.0%
回答者数	133	－
非該当	245	－

■ 1 週当たり利用希望日数等

(自宅)

日数	度数	構成比
1日	8	10.4%
2日	9	11.7%
3日	10	13.0%
4日	4	5.2%
5日	34	44.2%
無回答	12	15.6%
回答者数	77	100.0%
非該当	301	－

(祖父母宅や友人・知人宅)

日数	度数	構成比
1日	5	26.3%
2日	2	10.5%
3日	3	15.8%
4日	1	5.3%
5日	4	21.1%
無回答	4	21.1%
回答者数	19	100.0%
非該当	359	－

(習い事)

日数	度数	構成比
1日	20	40.8%
2日	21	42.9%
3日	4	8.2%
4日	2	4.1%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	100.0%
非該当	329	－

(児童館)

日数	度数	構成比
1日	2	7.1%
2日	5	17.9%
3日	7	25.0%
4日	3	10.7%
5日	8	28.6%
無回答	3	10.7%
回答者数	28	100.0%
非該当	350	－

(放課後子ども教室)

日数	度数	構成比
1日	4	28.6%
2日	4	28.6%
3日	2	14.3%
4日	1	7.1%
5日	2	14.3%
無回答	1	7.1%
回答者数	14	100.0%
非該当	364	－

(放課後児童クラブ)

日数	度数	構成比
2日	5	12.2%
3日	3	7.3%
4日	6	14.6%
5日	21	51.2%
無回答	6	14.6%
回答者数	41	100.0%
非該当	337	－

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)

時間	度数	構成比
16時	1	2.4%
17時	2	4.9%
18時	29	70.7%
19時	3	7.3%
無回答	6	14.6%
回答者数	41	100.0%
非該当	337	－

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
4日	1	50.0%
5日	1	50.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	376	-

(その他 (公民館・公園など))

日数	度数	構成比
3日	2	50.0%
4日	1	25.0%
無回答	1	25.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	374	-

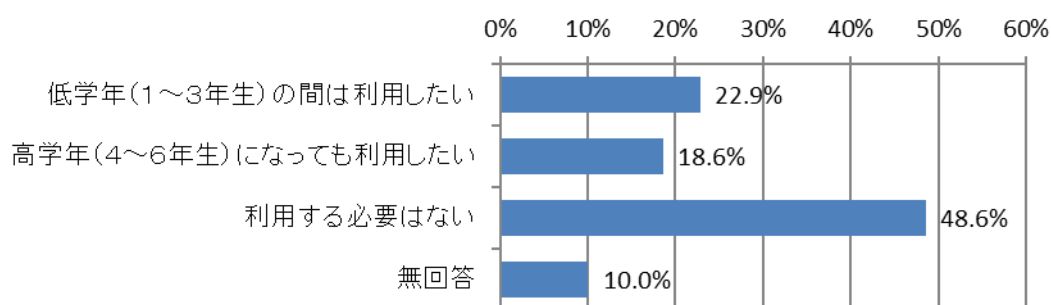
問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)。

(1) 土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が22.9%に対し、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が18.6%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は48.6%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時(19件)」が、帰所時刻については、「18時(12件)」の回答が多くなっています。



土曜日	度数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	16	22.9%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	13	18.6%
利用する必要はない	34	48.6%
無回答	7	10.0%
回答者数	70	100.0%
非該当	308	-

■利用時間帯

(登所時刻)

時間	度数	構成比
7時	4	13.8%
8時	19	65.5%
9時	4	13.8%
10時以降	2	6.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	29	100.0%
非該当	349	-

(帰所時刻)

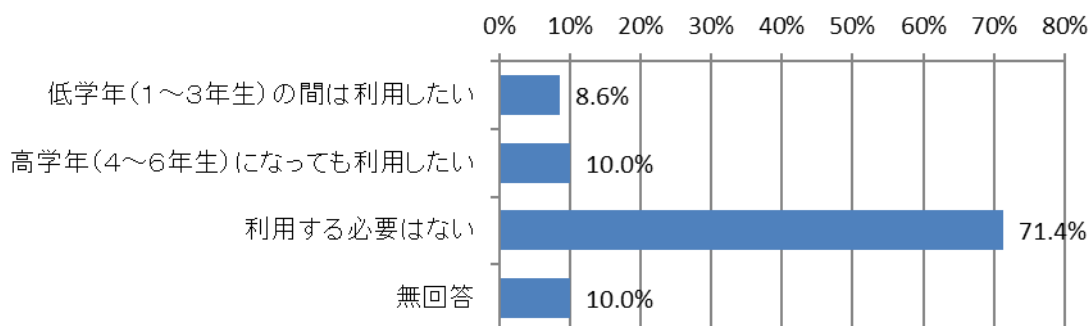
時間	度数	構成比
16時前	4	13.8%
16時	3	10.3%
17時	6	20.7%
18時	12	41.4%
19時	4	13.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	29	100.0%
非該当	349	-

(2) 日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が8.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.0%とともに低くなっています。

また、「利用する必要はない」の割合は71.4%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（10件）」が、帰所時刻については、「18時（7件）」の回答が多くなっています。



日曜・祝日	度数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	6	8.6%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	7	10.0%
利用する必要はない	50	71.4%
無回答	7	10.0%
回答者数	70	100.0%
非該当	308	-

■利用時間帯

(登所時刻)

時間	度数	構成比
7時	1	7.7%
8時	10	76.9%
9時	2	15.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	365	-

(帰所時刻)

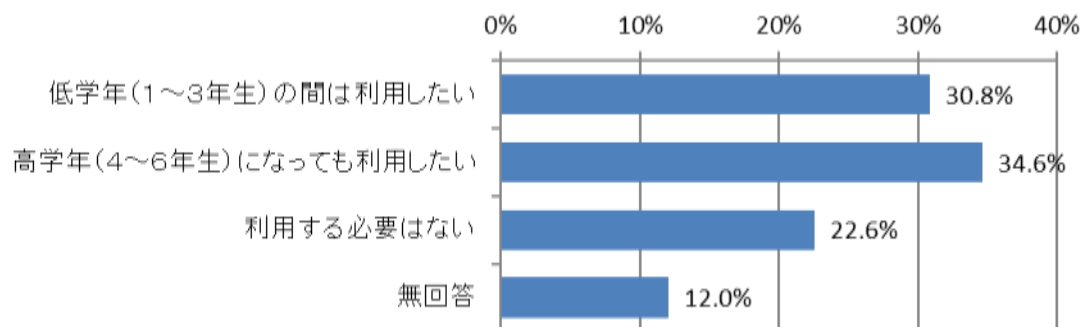
時間	度数	構成比
17時	3	23.1%
18時	7	53.8%
19時	3	23.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	365	-

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 0 9時～1 8時のように2 4時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が30.8%に対し、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が34.6%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は22.6%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時(61.9%)」、帰所時刻については、「18時(46.0%)」の割合が比較的高くなっています。



長期の休暇期間中	度数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	41	30.8%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	46	34.6%
利用する必要はない	30	22.6%
無回答	16	12.0%
回答者数	133	100.0%
非該当	245	-

■利用時間帯

(登所時刻)

時間	度数	構成比
6時	0	0.0%
7時	4	4.8%
8時	52	61.9%
9時	26	31.0%
10時以降	2	2.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	84	100.0%
非該当	291	－

(帰所時刻)

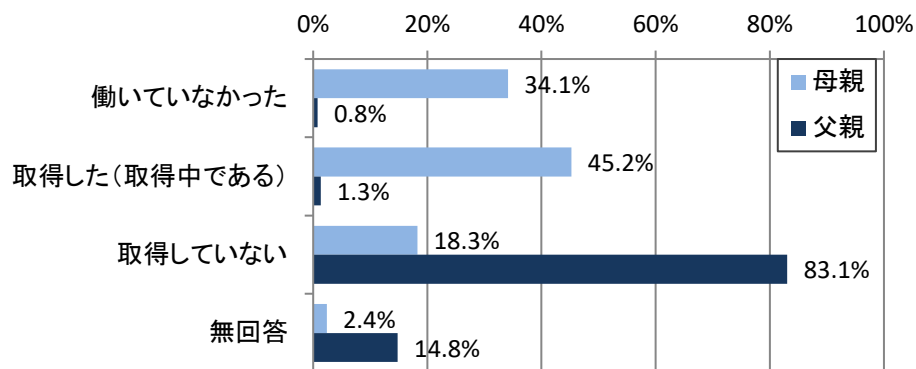
時間	度数	構成比
15時前	3	3.4%
15時	5	5.7%
16時	13	14.9%
17時	20	23.0%
18時	40	46.0%
19時	6	6.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	87	100.0%
非該当	291	－

11 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

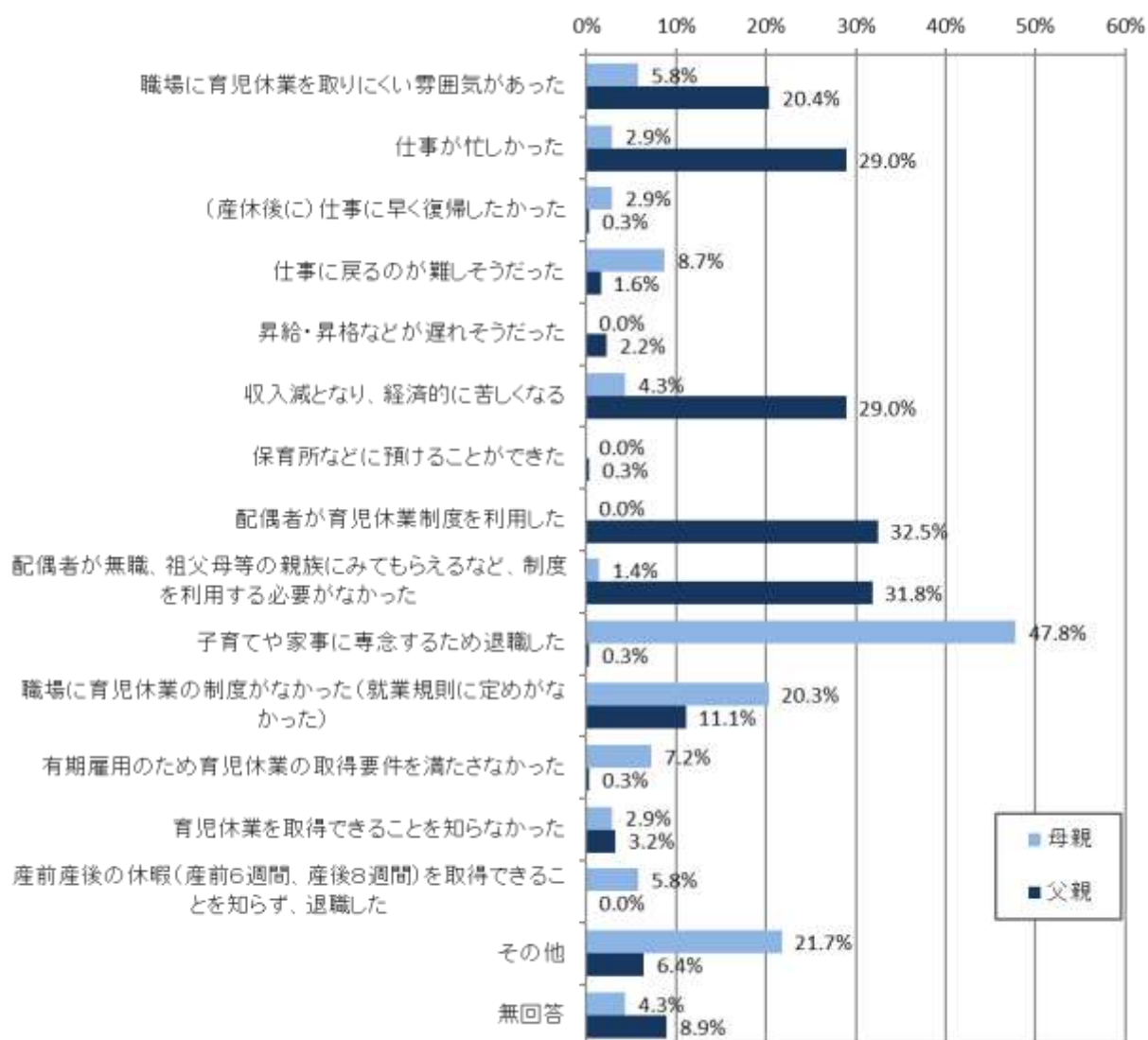
子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」の割合は、「母親」が 45.2%に対し、「父親」は 1.3%と、父親の取得割合が低くなっています。

また、「働いていなかった」の割合は、「母親」が 34.1%に対し、「父親」が 0.8%となっています。さらに、育児休業を取得していない理由は、「母親」では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 47.8%と高く、「父親」では、「配偶者が育児休業制度を利用した（32.5%）」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった（31.8%）」の割合がそれぞれ 3割を超え比較的高くなっています。



	【母親】		【父親】	
項目	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	129	34.1%	3	0.8%
取得した(取得中である)	171	45.2%	5	1.3%
取得していない	69	18.3%	314	83.1%
無回答	9	2.4%	56	14.8%
回答者数	378	100.0%	378	100.0%

■育児休業を取得していない理由



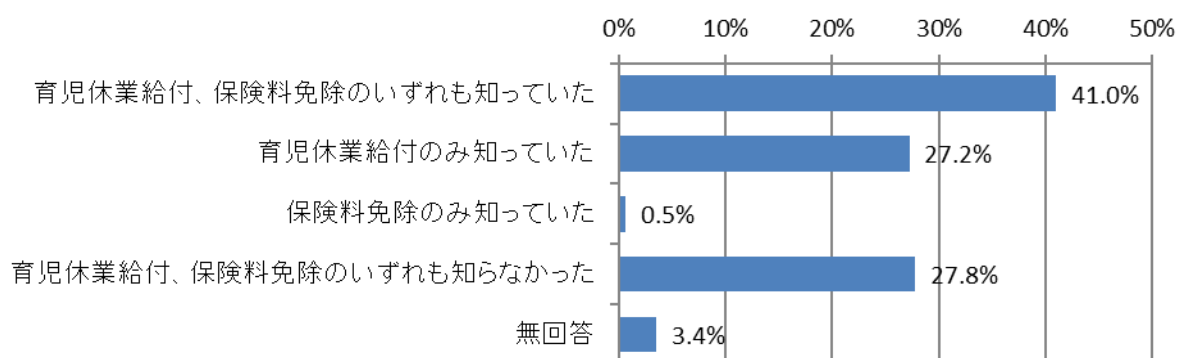
【母親】

【父親】

項目	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	4	5.8%	64	20.4%
仕事が忙しかった	2	2.9%	91	29.0%
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	2	2.9%	1	0.3%
仕事に戻るのが難しそうだった	6	8.7%	5	1.6%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	7	2.2%
収入減となり、経済的に苦しくなる	3	4.3%	91	29.0%
保育所などに預けることができた	0	0.0%	1	0.3%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	102	32.5%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	1.4%	100	31.8%
子育てや家事に専念するため退職した	33	47.8%	1	0.3%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	14	20.3%	35	11.1%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	7.2%	1	0.3%
育児休業を取得できることを知らなかった	2	2.9%	10	3.2%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	4	5.8%	0	0.0%
その他	15	21.7%	20	6.4%
無回答	3	4.3%	28	8.9%
回答者数	69	-	314	-
非該当	309	-	64	-

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が41.0%と最も高く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった（27.8%）」「育児休業給付のみ知っていた（27.2%）」の割合はいずれも3割前後となっています。



項目	度数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	155	41.0%
育児休業給付のみ知っていた	103	27.2%
保険料免除のみ知っていた	2	0.5%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	105	27.8%
無回答	13	3.4%
回答者数	378	100.0%

問 30 で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

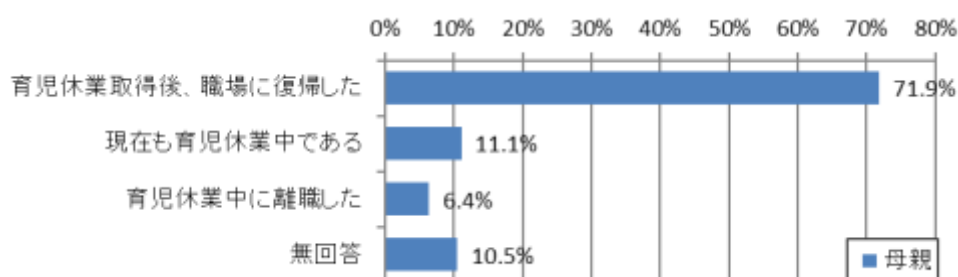
⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親 （2）父親

育児休業取得後の職場への復帰状況は、「母親」「父親」とともに、「育児休業取得後、職場に復帰した（母親：71.9%、父親：4件）」の回答が多くなっています。

（1）母親



項目	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	123	71.9%
現在も育児休業中である	19	11.1%
育児休業中に離職した	11	6.4%
無回答	18	10.5%
回答者数	171	100.0%
非該当	207	-

(2) 父親

項目	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	4	80.0%
現在も育児休業中である	0	0.0%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	1	20.0%
回答者数	5	100.0%
非該当	373	-

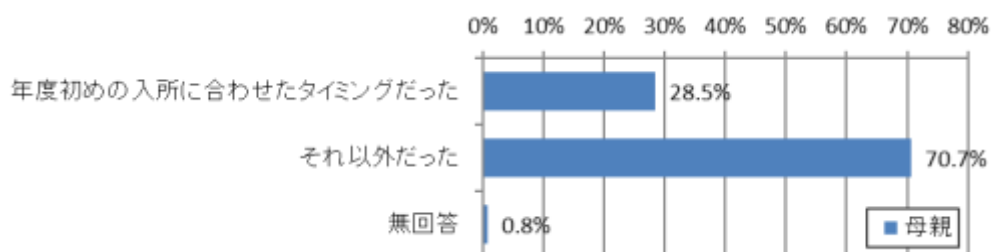
問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについては、「母親」「父親」とともに、「それ以外だった（母親：70.7%、父親：4件）」の回答となっています。

(1) 母親



項目	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	35	28.5%
それ以外だった	87	70.7%
無回答	1	0.8%
回答者数	123	100.0%
非該当	255	-

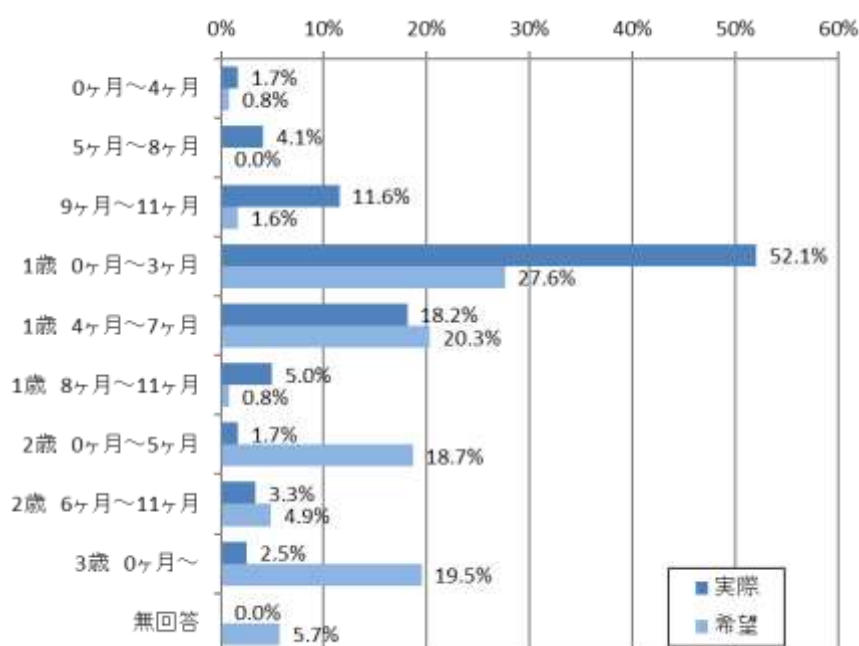
(2) 父親

項目	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	0	0.0%
それ以外だった	4	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	374	-

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「1歳0ヶ月～3ヶ月」の割合が「実際」で52.1%、「希望」で27.6%と、それぞれ最も高くなっています。



【実際】			【希望】	
年齢	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	2	1.7%	1	0.8%
5ヶ月～8ヶ月	5	4.1%	0	0.0%
9ヶ月～11ヶ月	14	11.6%	2	1.6%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	63	52.1%	34	27.6%
1歳 4ヶ月～7ヶ月	22	18.2%	25	20.3%
1歳 8ヶ月～11ヶ月	6	5.0%	1	0.8%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	2	1.7%	23	18.7%
2歳 6ヶ月～11ヶ月	4	3.3%	6	4.9%
3歳 0ヶ月～	3	2.5%	24	19.5%
無回答	0	0.0%	7	5.7%
回答者数	121	100.0%	123	100.0%
非該当	257	－	255	－

（２）父親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」と「希望」で、「０ヶ月～４ヶ月」の回答が３件となっています。

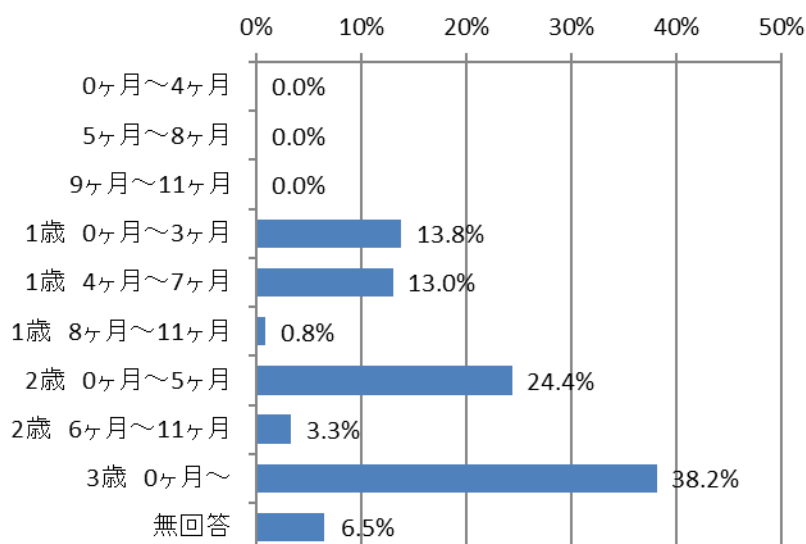
【実際】			【希望】	
年齢	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	3	2.5%	3	2.4%
5ヶ月～8ヶ月	1	0.8%	0	0.0%
9ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	0	0.0%	1	0.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	4	3.3%	4	3.3%
非該当	374	-	374	-

問 30-5 お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

（１）母親 （２）父親

育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）は、「母親」では「３歳０ヶ月～」の割合が３８．２％と最も高くなっています。「父親」では、「１歳０ヶ月～３ヶ月」の回答が２件となっています。

（１）母親



【母親】			【父親】	
年齢	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	0	0.0%	1	25.0%
5ヶ月～8ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
9ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	17	13.8%	2	50.0%
1歳 4ヶ月～7ヶ月	16	13.0%	0	0.0%
1歳 8ヶ月～11ヶ月	1	0.8%	0	0.0%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	30	24.4%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～11ヶ月	4	3.3%	0	0.0%
3歳 0ヶ月～	47	38.2%	1	25.0%
無回答	8	6.5%	0	0.0%
回答者数	123	100.0%	4	100.0%
非該当	255	－	374	－

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

希望より早く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため（47.3%）」「経済的な理由で早く復帰する必要があった（33.8%）」の割合がそれぞれ3割を超え比較的高くなっています。「父親」では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が2件となっています。

【母親】			【父親】	
項目	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入るため	8	10.1%	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	4	5.1%	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	30	38.0%	1	100.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	23	29.1%	0	0.0%
その他	18	22.8%	0	0.0%
無回答	14	17.7%	0	0.0%
回答者数	79	－	1	－
非該当	299	－	377	－

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

希望より遅く復帰した保護者のうち、「母親」では、「希望する保育所に入れなかったため」が1件と
なっています。「父親」は回答なし。

項目	【母親】		【父親】	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入れなかったため	1	25.0%	0	－
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%	0	－
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%	0	－
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	－
子どもをみってくれる人がいなかったため	0	0.0%	0	－
その他	0	0.0%	0	－
無回答	3	75.0%	0	－
回答者数	4	－	0	－
非該当	374	－	378	－

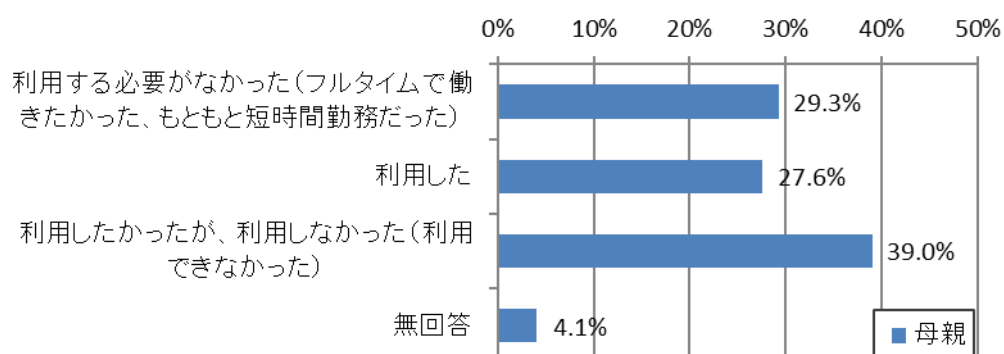
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに
○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「母親」では、「利用した」の割合が 19.7%
に対し、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 48.6%と、利用しなかった（利
用できなかった）の割合がやや上回っています。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働
きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合は 28.2%となっています。「父親」では、「利用する
必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」で 2 件となっています。

(1) 母親



	【母親】		【父親】	
項目	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	36	29.3%	3	75.0%
利用した	34	27.6%	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	48	39.0%	1	25.0%
無回答	5	4.1%	0	0.0%
回答者数	123	100.0%	4	100.0%
非該当	255	-	374	-

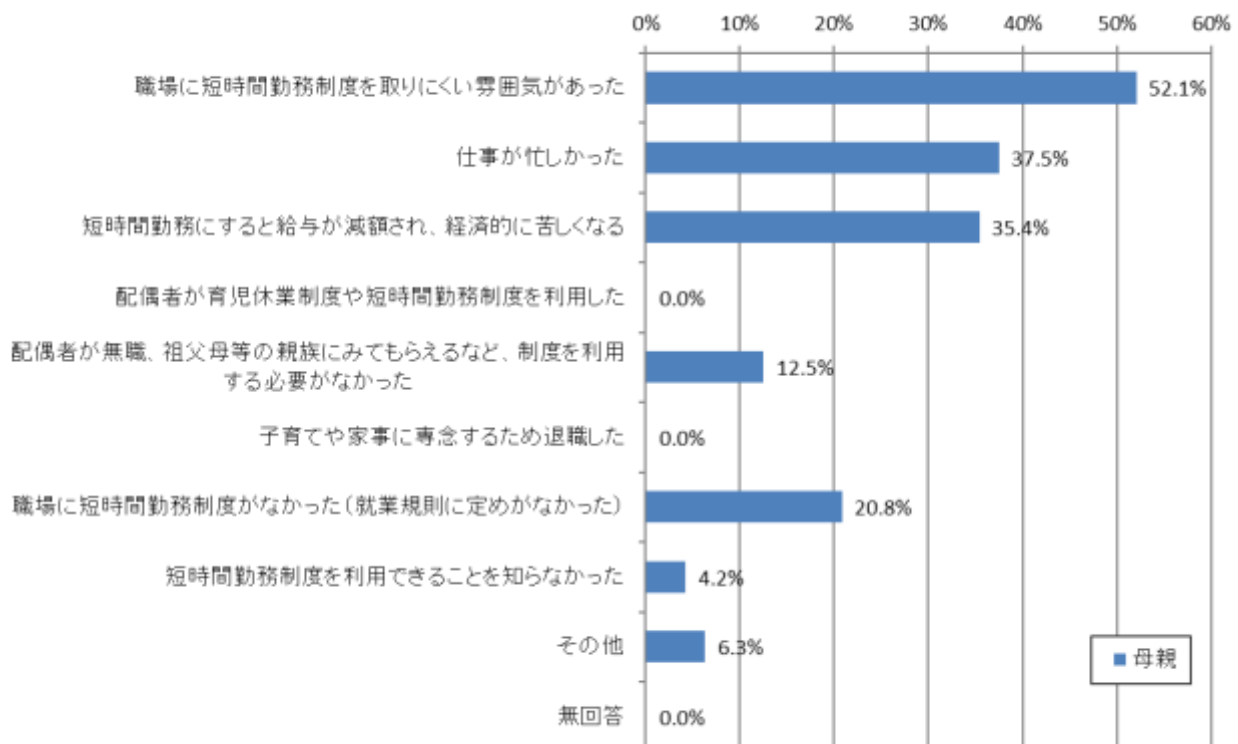
問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は、「母親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 37.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」の割合が 35.4%となっています。「父親」は、「職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」が 1 件となっています。

(1) 母親



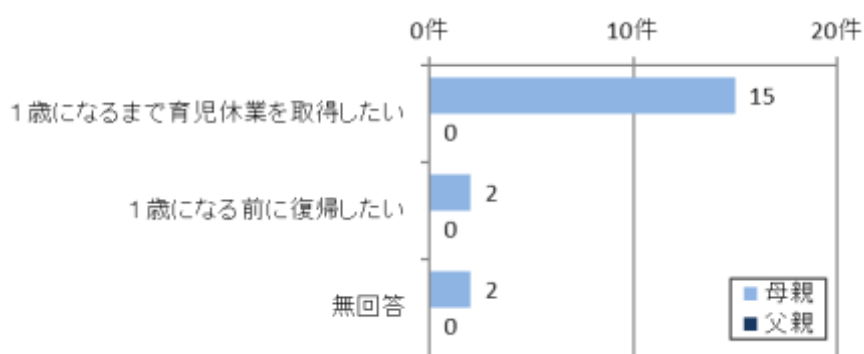
	【母親】		【父親】	
項目	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	25	52.1%	0	0.0%
仕事が忙しかった	18	37.5%	0	0.0%
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	17	35.4%	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6	12.5%	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10	20.8%	1	100.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	2	4.2%	0	0.0%
その他	3	6.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	48	－	1	－
非該当	330	－	377	－

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

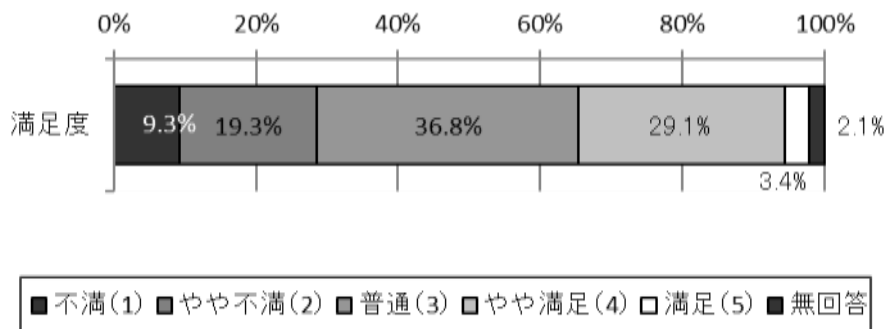
子どもが1歳になったとき必ず利用できる事業があるなどの場合の育児休業の取得希望は、「母親」では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の回答が15件と多くなっています。「父親」の回答はなし。



	【母親】		【父親】	
項目	度数	構成比	度数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	15	78.9%	0	－
1歳になる前に復帰したい	2	10.5%	0	－
無回答	2	10.5%	0	－
回答者数	19	100.0%	0	－
非該当	357	－	378	－

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「満足度4（29.1%）」と「満足度5（3.4%）」の合計）」の割合が32.5%に対し、「不満（「満足度1（9.3%）」と「満足度2（19.3%）」の合計）」が28.6%と、満足の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
不満(1)	35	9.3%
やや不満(2)	73	19.3%
普通(3)	139	36.8%
やや満足(4)	110	29.1%
満足(5)	13	3.4%
無回答	8	2.1%
回答者数	378	100.0%

すべての方におうかがいします。

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※別冊掲載

飯山市子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書
【令和元年 12 月】

発行/編集 飯山市 子ども育成課

〒389-2292 長野県飯山市大字飯山 1110-1
電話番号 (0269)62-3111 (代表)
